

平成30年度
音声広報CD及び展示・大活字広報誌に関する
アンケート調査

2019年3月
内閣府政府広報室

目次

調査実施概要	2
①CD・冊子 利用者向け調査の結果	3
Ⅰ 音声広報CD「明日への声」について	4～10
Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について	11～18
Ⅲ 共通事項	19～21
(参考)対象者属性	22
②CD・冊子 配布先施設等向け調査の結果	23
Ⅰ 音声広報CD「明日への声」について	24～30
Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について	31～39
Ⅲ 共通事項	40～44
③CD・冊子 配布先自治体向け調査の結果	45
Ⅰ 音声広報CD「明日への声」について	46～52
Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について	53～61
Ⅲ 共通事項	62～66

調査実施概要

1. 調査目的

視覚障害者等向け資料音声広報CD「明日への声」、点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」の利用者を対象とした調査(利用者調査)及び配布先施設・団体・地方自治体に向けた調査(配布先施設・団体調査)を実施し、音声広報CD、点字・大活字冊子の利用状況等を把握し、今後の効果的かつ効率的な広報展開に資する情報を得ることを目的とする。

2. 調査対象・回答数

(1)利用者向けアンケート

- ・対象 全国の視覚障害者 350人
- ・回答数127人 (回収率36.3%)

(2)施設・団体向けアンケート

- ・対象 配布先施設・団体 340箇所
- ・回答数179箇所 (回収率52.7%)

(3)自治体向けアンケート

- ・対象 配布先地方自治体 350箇所
- ・回答数172箇所 (回収率49.1%)

※各アンケート項目において、無回答は回答数に含めていない。

3. 調査期間

平成30年9月下旬～平成30年10月下旬

4. 調査方法

(1)利用者向けアンケート

郵送によるアンケート調査配布、郵送による回収

(2)施設・団体向けアンケート

郵送によるアンケート調査配布、郵送かメールによる回収

(3)自治体向けアンケート

郵送によるアンケート調査配布、郵送かメールによる回収

5. 調査企画管理・実施機関

株式会社 廣濟堂



①CD・冊子 利用者向け
調査の結果

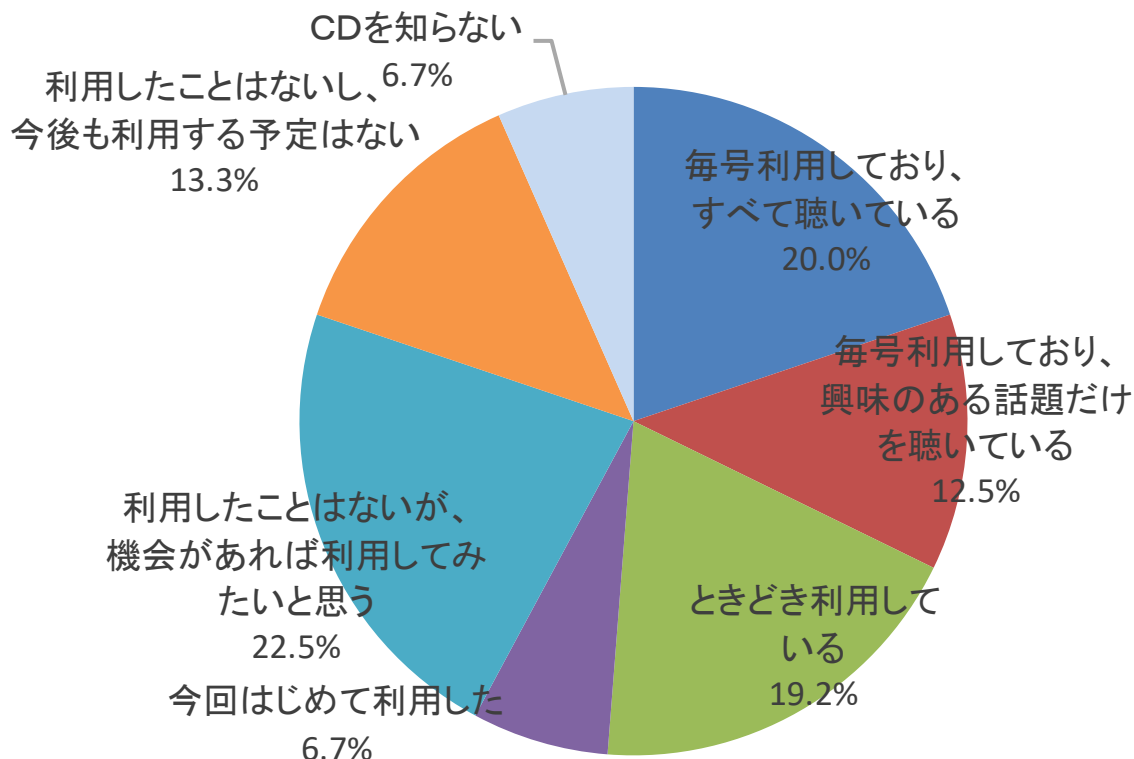
I 音声広報CD「明日への声」について

問1 内閣府では、視覚障害者の方や小さな文字が読みにくい方等に向けて、政府の施策を分かりやすくまとめた音声広報CD「明日への声」を作成しています。このCDのご利用状況について、当てはまるものを1つお選びください。

◆視覚障害者向けの政府広報CD「明日への声」の利用状況をみると「毎号利用しており、すべて聴いている」は19.8%、「毎号利用しており、興味のある話題だけを聴いている」は12.4%となっており、毎号利用している人は全体の約3割となっている。

◆また、「ときどき利用している」は19.0%で、「今回はじめて利用した」は、6.6%となっている。

N=121

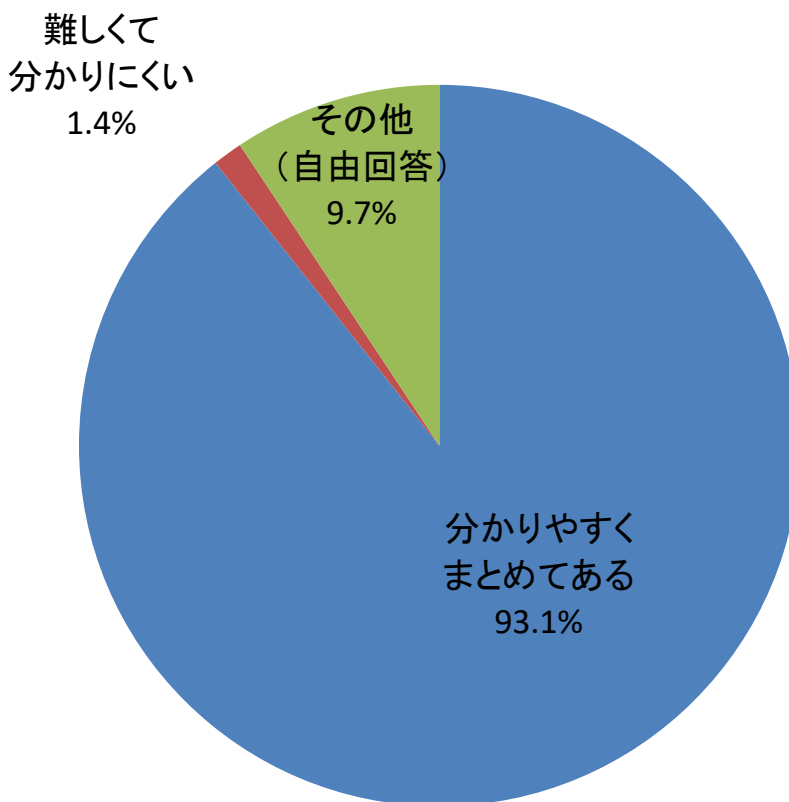


I 音声広報CD「明日への声」について

問2 ご利用いただき、どのような感想を持たれましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 音声広報CD「明日への声」を利用している方の感想としては、「分かりやすくまとめている」が89.3%と約9割を占めている。

N=75



○その他回答内容(抜粋)

・わかりやすくまとめられているところと内容がわかりにくいところがあります。

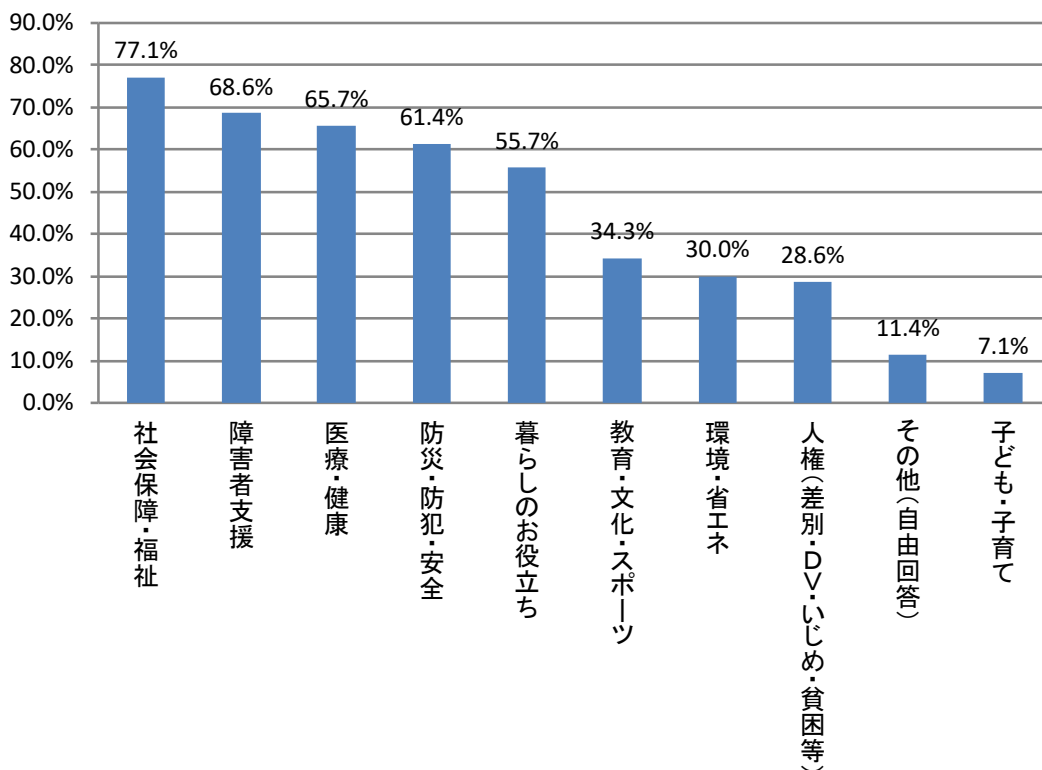
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問3 このCDの中に役に立つ情報はありましたか。役に立つ情報があった場合、どのような情報が役に立ちましたか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 「どのような情報が役に立ちましたか」という質問に対し、「社会保障・福祉」と答えた方が77.1%と最も多い。
- ◆ 次いで「障害者支援」が68.6%、「医療・健康」が65.7%、「防災・防犯・安全」が61.4%で続く。

N=70



○その他回答内容(抜粋)

・新しい法律の紹介

など

I 音声広報CD「明日への声」について

問4 このCDには、政府からの情報のほかにも「小倉百人一首」や「名曲で“世界”を聴く」等を紹介する企画コーナーがあります。ご意見、ご感想があればぜひお聞かせください。

- ・とても良い。楽しみにしております。
- ・百人一首とタンゴがとても良く、何度も聞いた。
- ・どちらも面白い。特に音楽は点字や大活字にはできないので、CDならではの内容でホッとできるコーナーだと思います。
- ・楽しいコーナーなので、継続してほしい。
- ・「名曲で“世界”を聴く」のコーナーに興味があり、利用を始めた。
- ・この企画コーナーは、頭の体操にもなる。「名曲で“世界”を聴く」は解説が有るとありがたい。
- ・「名曲で“世界”を聴く」に興味があるので楽しみに聞いています。
- ・小倉百人一首は年1回にしてほしい。

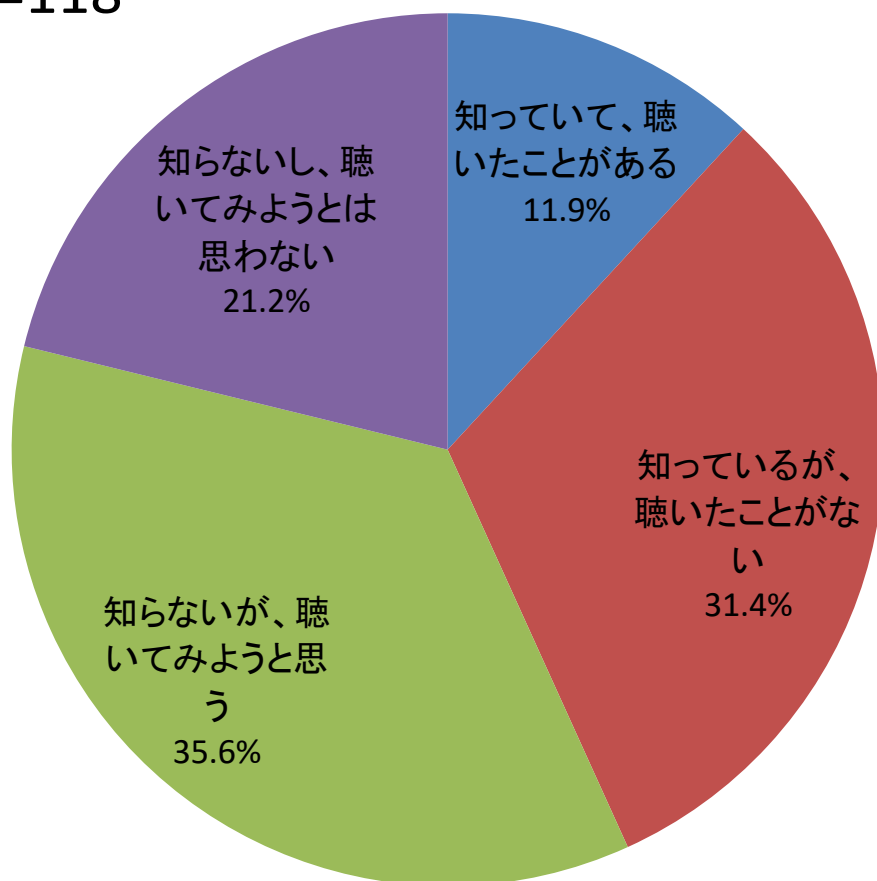
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問5 このCDは、政府広報オンライン(インターネット)でも聴くことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 政府広報オンラインで「明日への声」を聴くことができることを「知っている人」は約43%。
- ◆ 「知らないが、聴いてみようと思う」と回答した人が35.6%と最も多い。

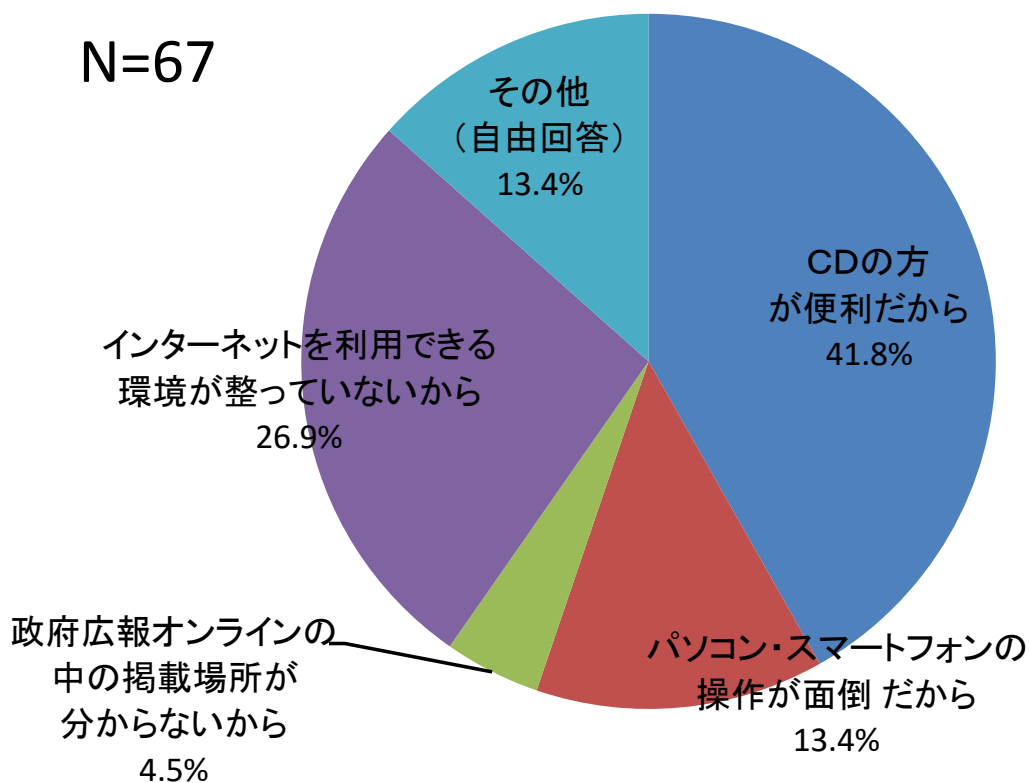
N=118



I 音声広報CD「明日への声」について

問6 政府広報オンラインでの「明日への声」を聴いてみようと思わない理由として当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 最も多かった回答は、「CDの方が便利だから」で41.8%であった。
- ◆ 次いで「インターネットを利用できる環境が整っていないから」が26.9%となっている。



○その他回答内容(抜粋)

・サピエ図書館にあれば使ってみたい。

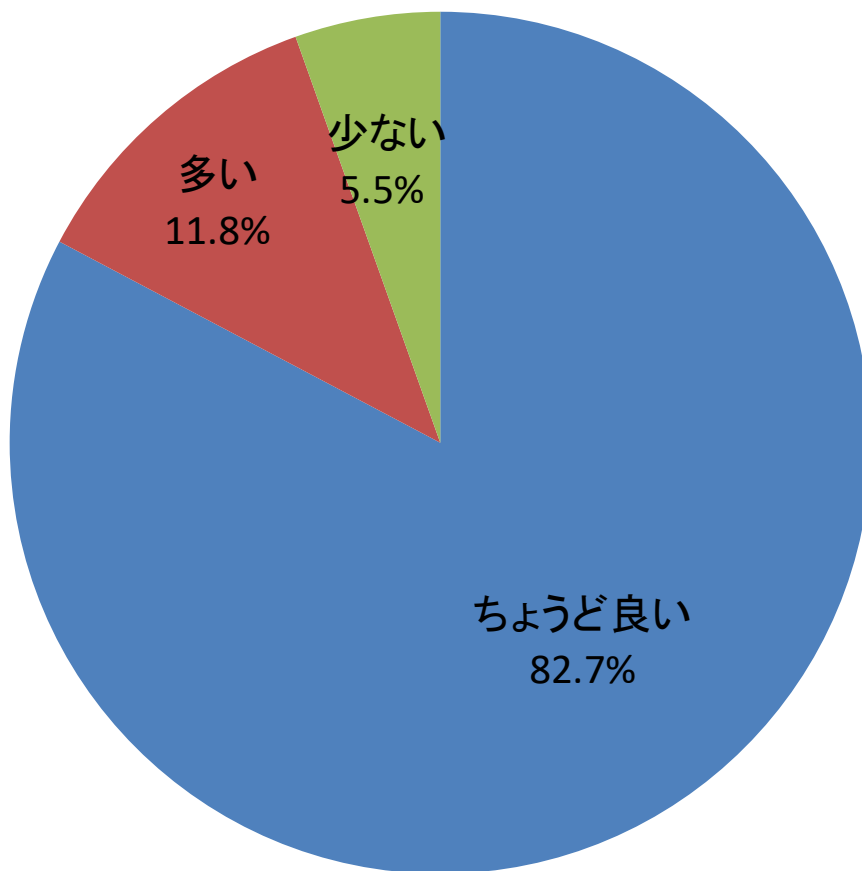
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問7 このCDは年6回発行しています。発行回数についてご意見をお聞かせください。

◆ 発行回数については、「ちょうど良い」という回答が82.7%であった。

N=110

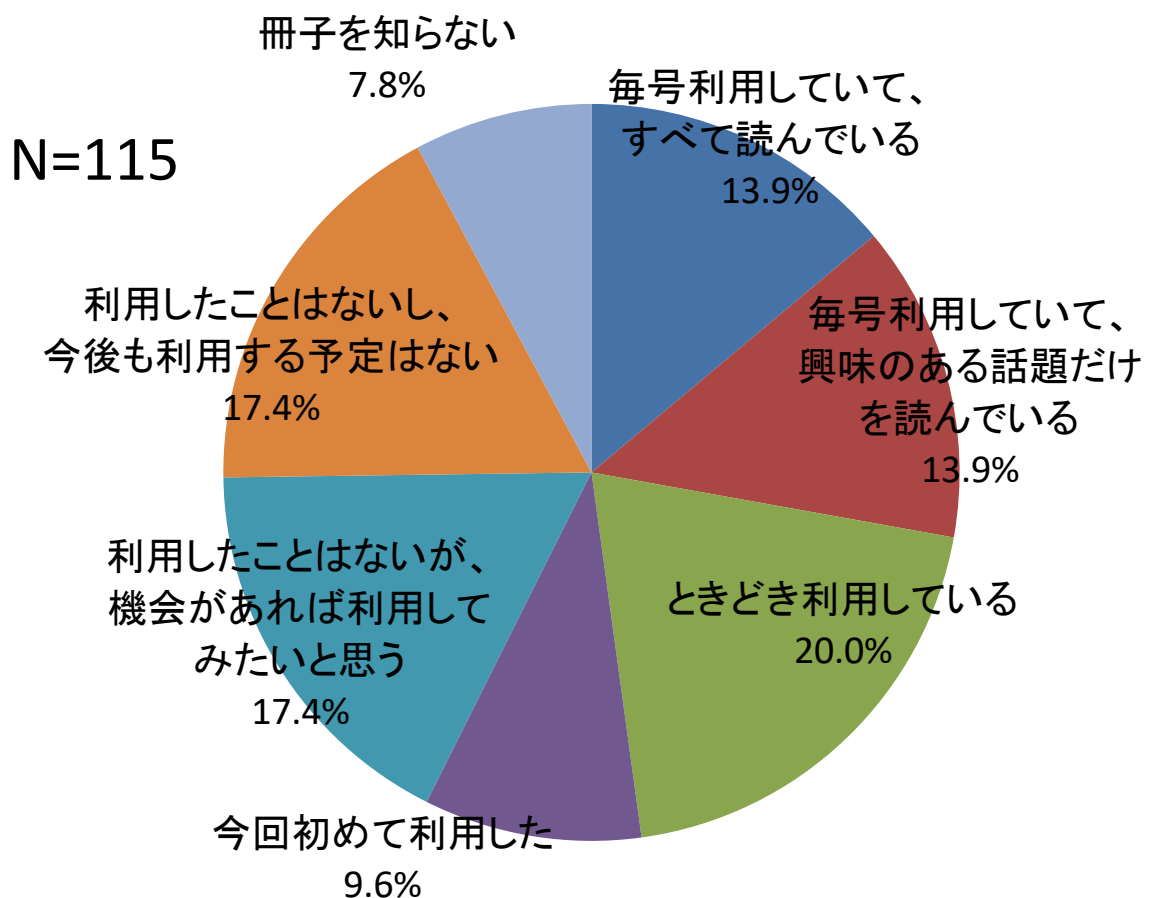


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問8 内閣府では、政府の施策をわかりやすくまとめた、点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」を作成しています。この広報誌のご利用状況について、当てはまるものを1つお選びください。

◆点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」の利用状況をみると「毎号利用していて、すべて読んでいる」は13.9%、「毎号利用しており、興味のある話題だけを読んでいる」も13.9%となっており、毎号利用している人は全体の約3割となっている。

◆また、「ときどき利用している」は20.0%で、「今回初めて利用した」は9.6%となっている。

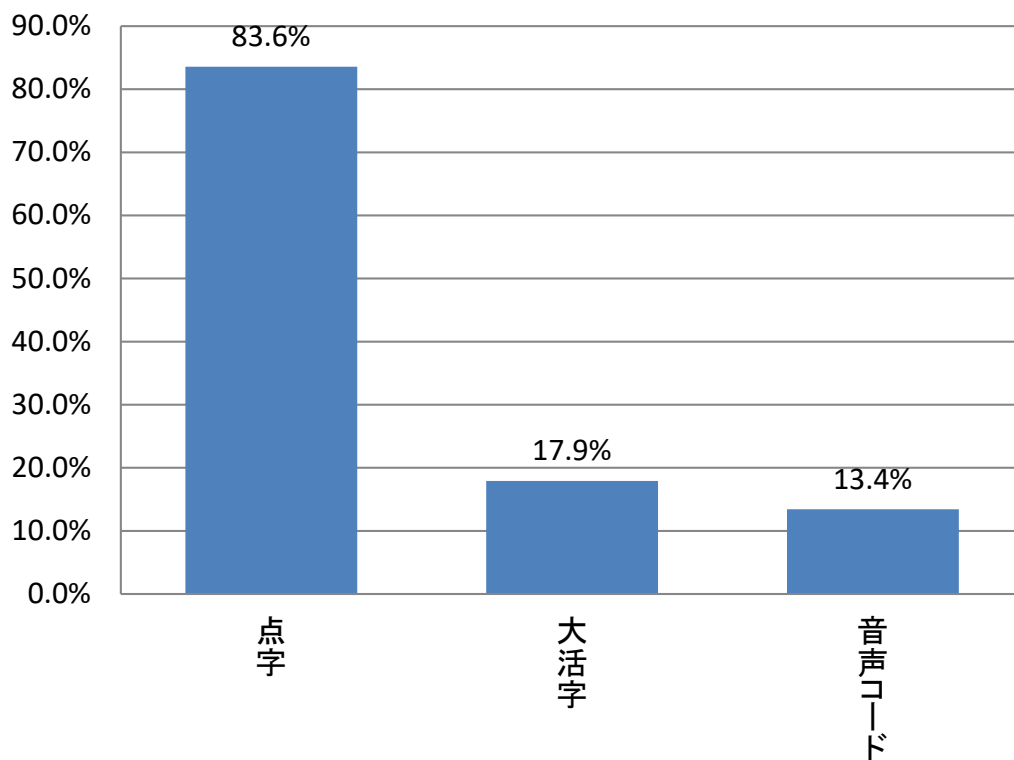


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問9 この冊子は、点字と大活字、音声コードをご利用いただける広報誌です。利用されているものをすべてお選びください。

- ◆ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」では「点字」を利用している人が最も多く、83.6%。

N=67

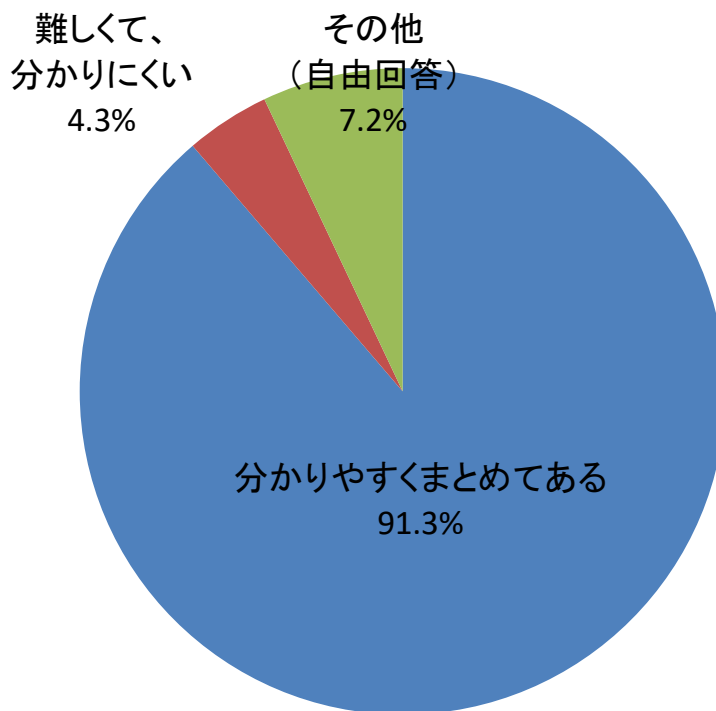


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問10 ご利用いただき、どのような感想を持たれましたか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」を利用しての感想としては、「分かりやすくまとめている」が88.7%。

N=71



○その他の回答内容(抜粋)

- ・季節や生活に応じたテーマがあり、分かりやすい。
- ・分かる所と、分からない所があった。

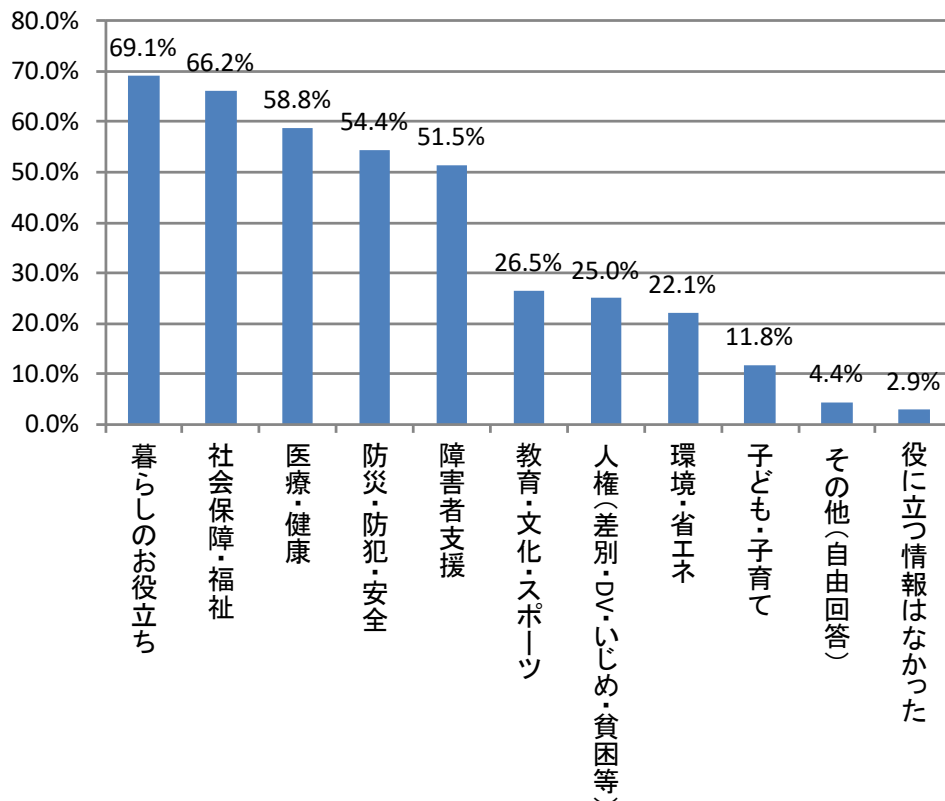
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問11 この冊子の中に役に立つ情報はありましたか。役に立つ情報があった場合、具体的にどのような情報ですか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 「どのような情報が役に立ちましたか」という質問に対し、「暮らしのお役立ち」と答えた方が69.1%と最も多い。
- ◆ 次いで「社会保障・福祉」が66.2%、「医療・健康」が58.8%、「防災・防犯・安全」が54.4%で続く。

N=68



○その他の回答内容(抜粋)

・迎賓館等、国の機関の紹介記事が役立つと思う。

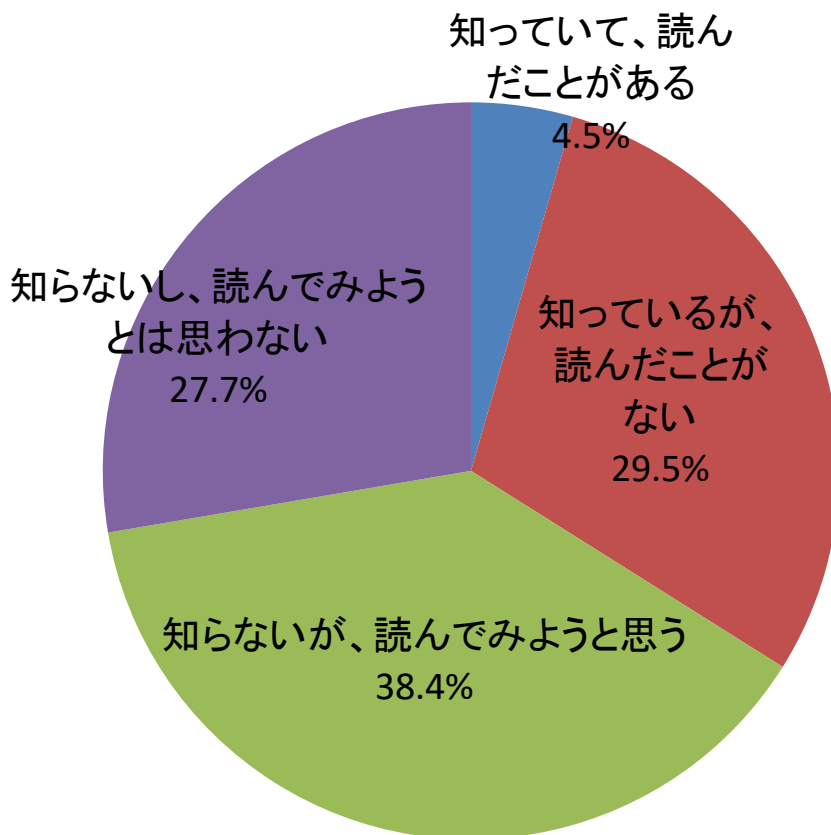
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問12 この冊子は、政府広報オンライン(インターネット)でも読むことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 政府広報オンラインで「ふれあいらしんばん」を読むことができることを「知っている人」は約34%。
- ◆ 「知らないが、読んでみようと思う」と回答した人が35.6%と最も多い。

N=112

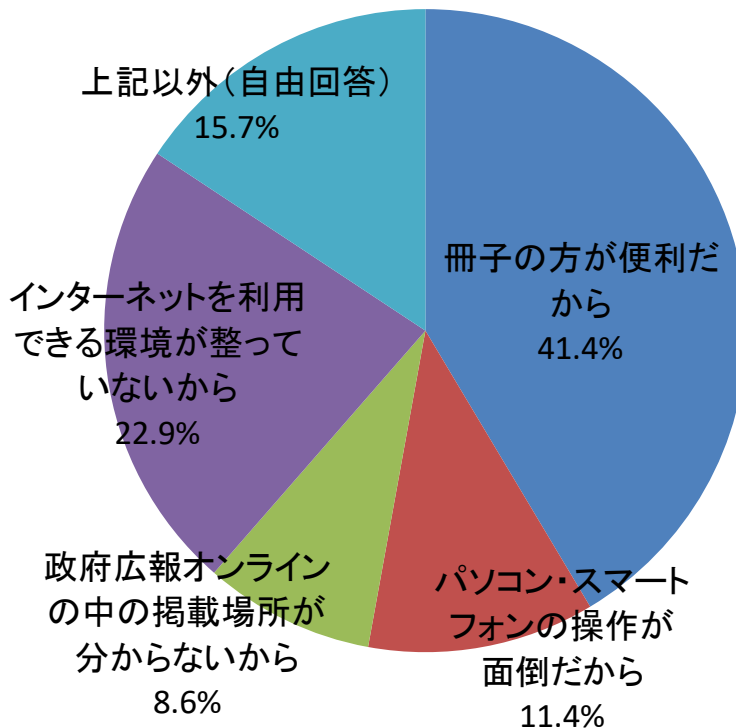


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問13 政府広報オンラインでの「ふれあいらしんばん」を読んでもようと思わない理由として当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 政府広報オンラインでも「ふれあいらしんばん」を読んでもようと思わない理由として最も多かった回答は、「実際の冊子の方が便利だから」で41.4%であった。
- ◆ 次いで「インターネットを利用できる環境が整っていないから」が22.9%となっている。

N=70



○その他の回答内容(抜粋)

・音声広報CD「明日への声」で同じ内容を聞いているため。

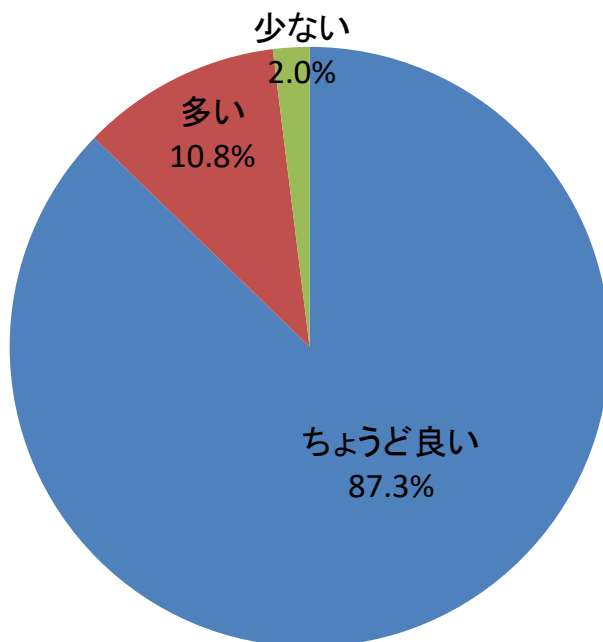
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問14 この冊子は年6回発行しています。発行回数についてのご意見をお聞かせください。

◆ 発行回数については、「ちょうど良い」という回答が87.3%であった。

N=102

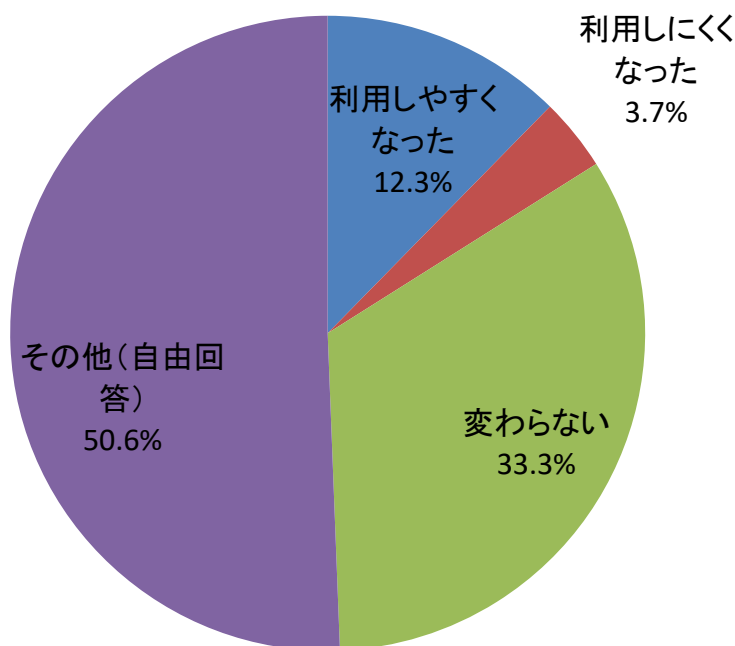


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問15 第63号(平成30年9月発行)から、音声コードをSPコードからUni-Voiceコードに変更しました。利用しやすさについて、当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 音声コード変更による利用しやすさについては、「変わらない」という回答が33.3%であった。

N=81



○その他の回答内容(抜粋)

・音声コードは利用していない。

など

Ⅲ 共通事項

問16 「音声広報CD」または「点字・大活字広報誌」について、ご意見やご要望があれば、ぜひお聞かせください。

・Uni-VoiceコードになったのでSPコード読み取り機でもiPhoneのアプリでも読めるようになった。とても使いやすいし、iPhoneのアプリで文字の確認ができてとても助かっている。

・色々な情報を入手することが出来るので役に立つ。

・私はとても良い読み物と思っているので、そばに置いておくにはもったいない。他の視覚障害の仲間にも知らせていただけると考え、読んだものをボランティアの方にお送りしている。

・拡大文字が読みやすいので嬉しい。ただ本文がもう少し太字の方が読みやすい。

・サピエ図書館から利用できるようにしてほしい。

・L点字のものも作ってほしい。

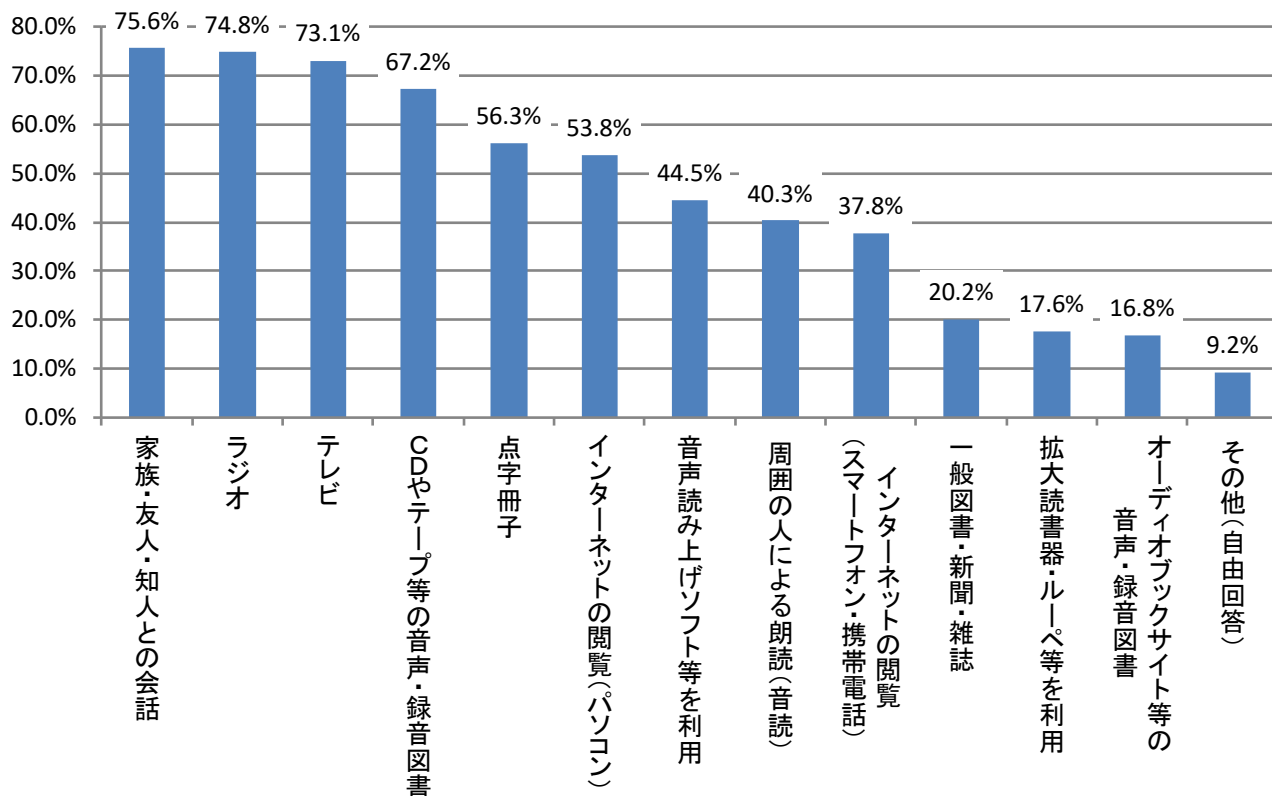
など

Ⅲ 共通事項

問17 普段、どのような方法で情報入手されていますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 普段情報を「家族・友人・知人との会話」から入手している人が75.6%と最も多い。
- ◆ 次いで「ラジオ」が74.8%、「テレビ」が73.1%、「CDやテープ等の音声・録音図書」が67.2%で続く。

N=119



○その他の回答内容(抜粋)

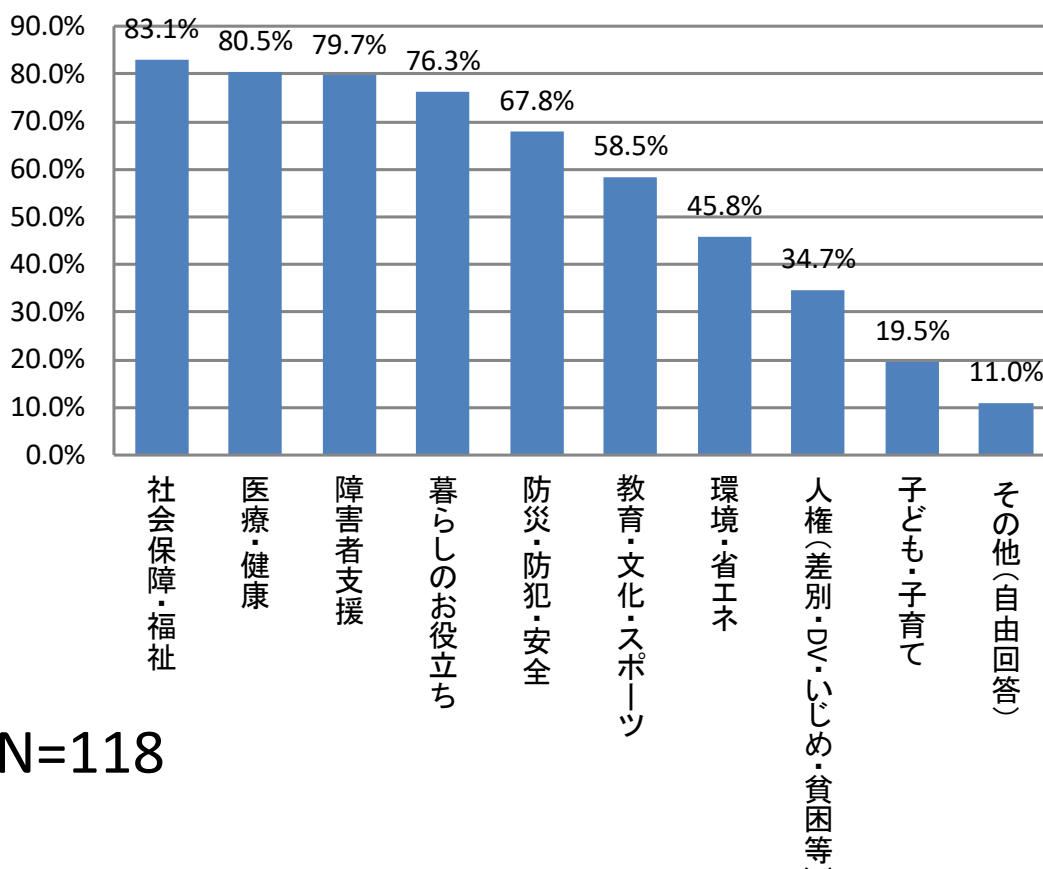
- ・デイサービスを利用する際の会話等
- ・メールマガジン
- ・スマートスピーカー

など

Ⅲ 共通事項

問18 問17でお選びいただいた方法により、どのような情報を入手したいと思われませんか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ どのような情報を入手したいかについては、「社会保障・福祉」が83.1%で最も多い。
- ◆ 次いで「医療・保険」が80.5%、「障害者支援」が79.7%、「暮らしのお役立ち」が76.3%で続く。



N=118

○その他の回答内容(抜粋)

- ・外交
- ・地方創生

など

(参考)対象者属性

(1)性別

男	女
78人	45人

(2)年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
4人	6人	5人	21人	32人	24人	27人	4人

(3)視力の状態

全盲	弱視	その他(自由回答)
81人	34人	5人

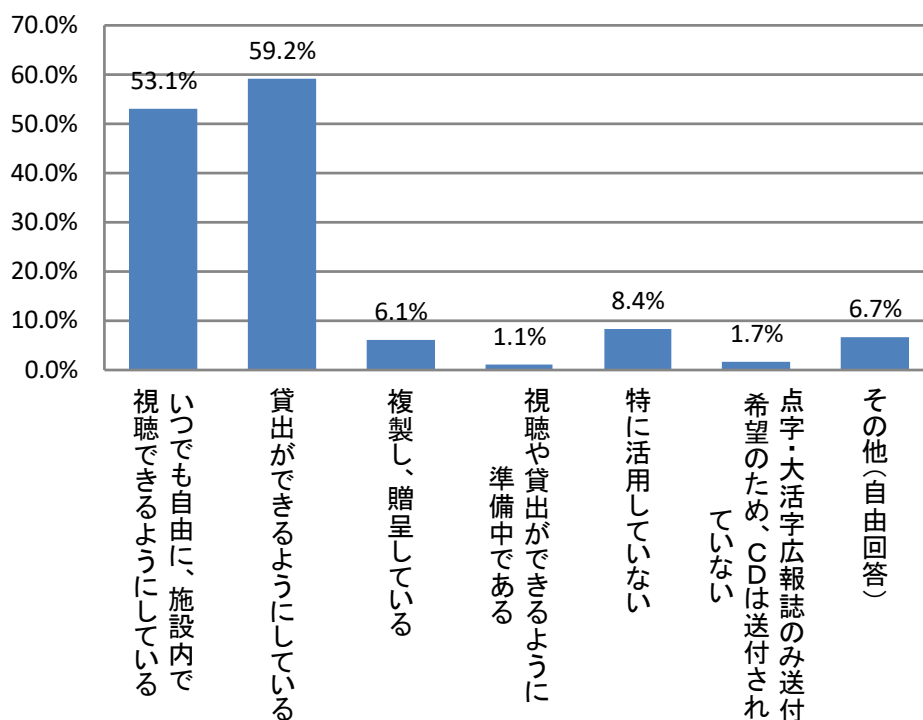
②CD・冊子 配布先施設等向け 調査の結果

I 音声広報CD「明日への声」について

問1 音声広報CD「明日への声」は、視覚障害者の方や小さな文字が読みにくい方等に向けて、政府の施策を音声でお届けしています。このCDの活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 活用方法としては、「貸出ができるようにしている」が59.2%で最も多い。
- ◆ 次いで「いつでも自由に、施設内で視聴できるようにしている」が53.1%となっている。

N=179



○その他の回答内容(抜粋)

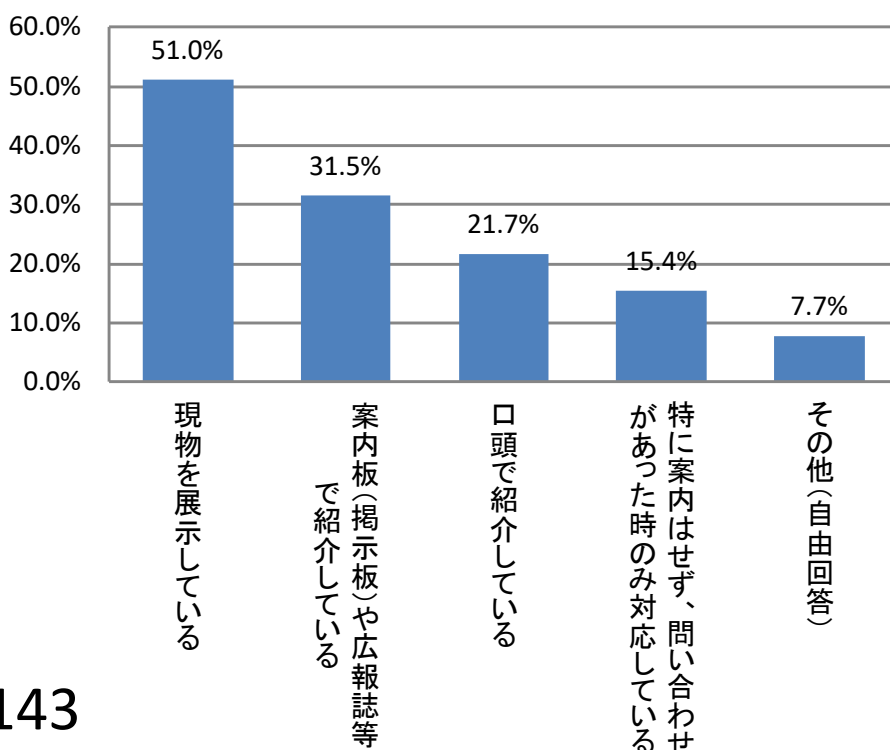
- ・案内して現物が欲しい人を募っている。
- ・係内で回覧し、視聴している。

など

I 音声広報CD「明日への声」について

問2 問1で「1 いつでも自由に、施設内で視聴できるようにしている」または「2 貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 具体的な案内方法は、「現物を展示している」が51.0%、「案内板（掲示板）や広報誌等で紹介している」が31.5%となっている。



N=143

○その他の回答内容(抜粋)

- ・希望者に贈呈する場合がある。
- ・全員が集まる機会に音声広報CDや点字・大活字広報誌が届いた事を伝えると共に個別に声掛けをして紹介している。
- ・対面朗読室に展示している。

など

I 音声広報CD「明日への声」について

問3 問1で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。

- ・興味がある人はインターネットを通じて自分で情報収集している。
- ・興味・関心のある事項についてはラジオ、テレビ音声又は施設職員からの情報収集で十分対応できており、改めて聞く必要がない。
- ・小学生、中学生などには内容を理解するのは難しい。
- ・以前、視覚障害の利用者に紹介し、提供をしたが、本人に直接関係する生活面などについての情報が少ないとの意見があった。今後、活用していくにあたってはPR方法など検討を行っていきたい。
- ・問合せが無い。利用者から聞かない。

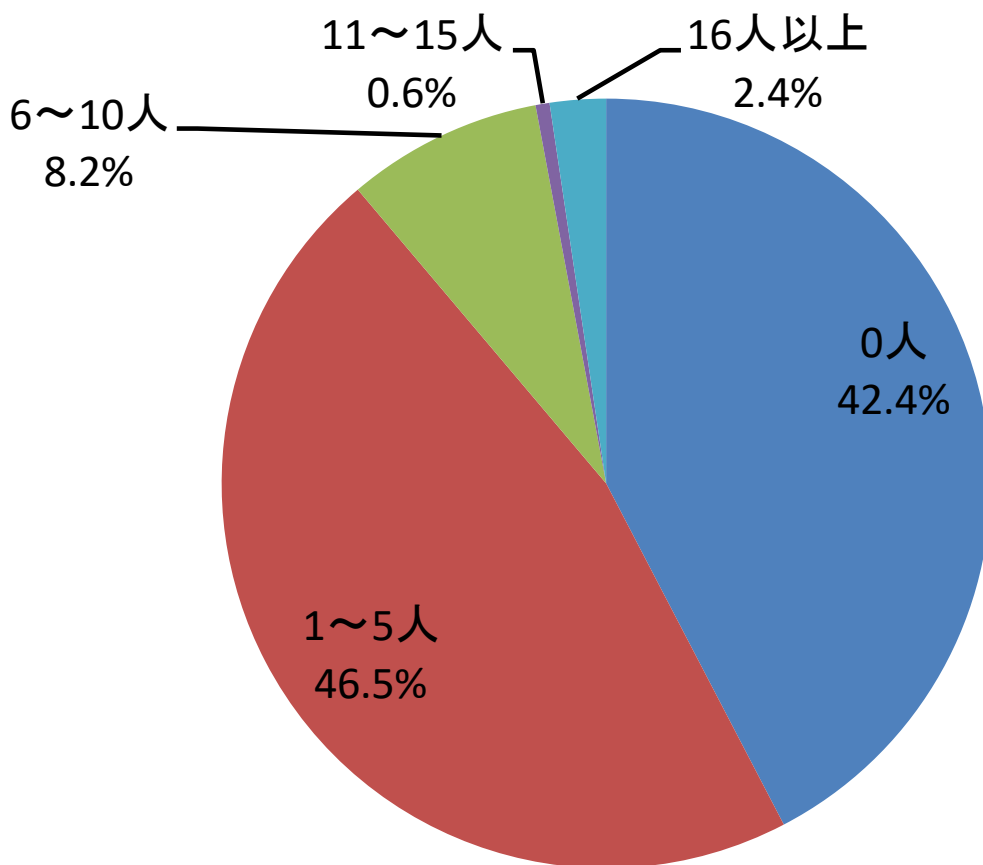
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問4 1か月の間に音声広報CD「明日への声」を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 「1～5人」が46.5%が最も多く、半数以上の施設で利用実績がある。

N=170

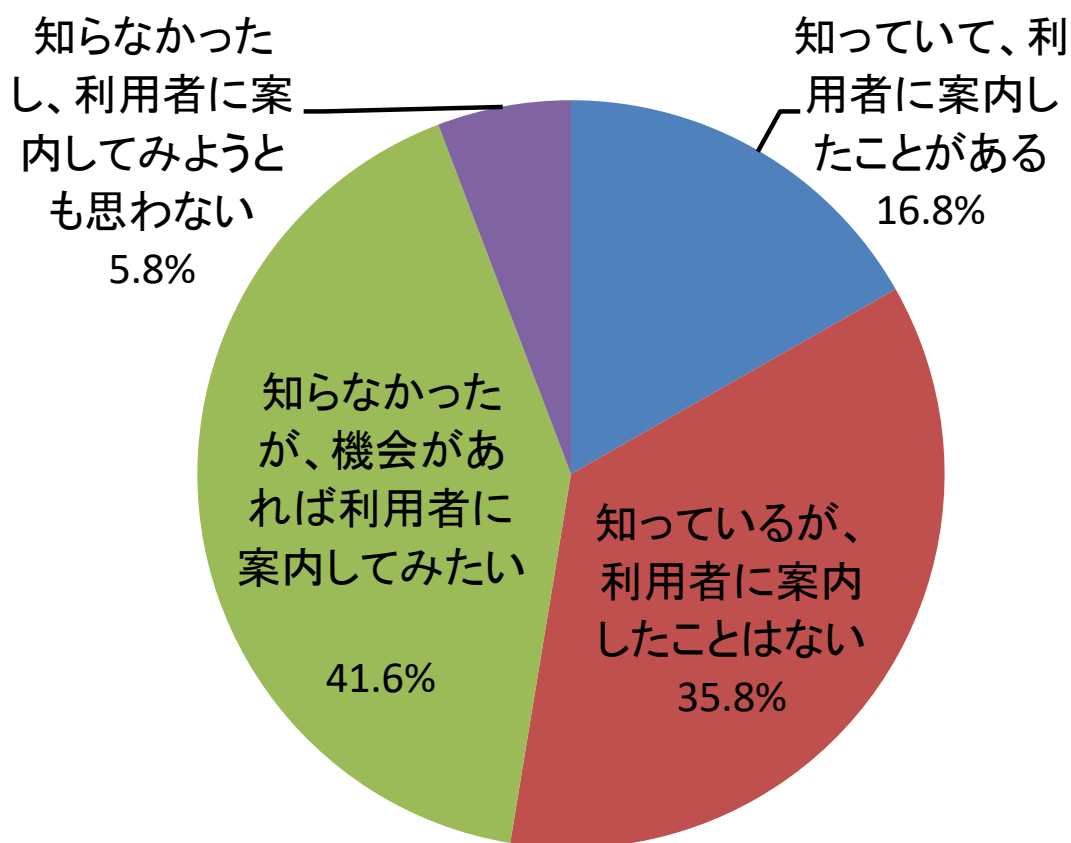


I 音声広報CD「明日への声」について

問5 このCDは、政府広報オンライン(インターネット)でも聴くことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 政府広報オンライン(インターネット)でも聴くことができることを「知っている」と答えた施設は約53%であった。
- ◆ 「知らなかったが、機会があれば利用者に案内してみたい」と答えた施設が41.6%で最も多い。

N=173

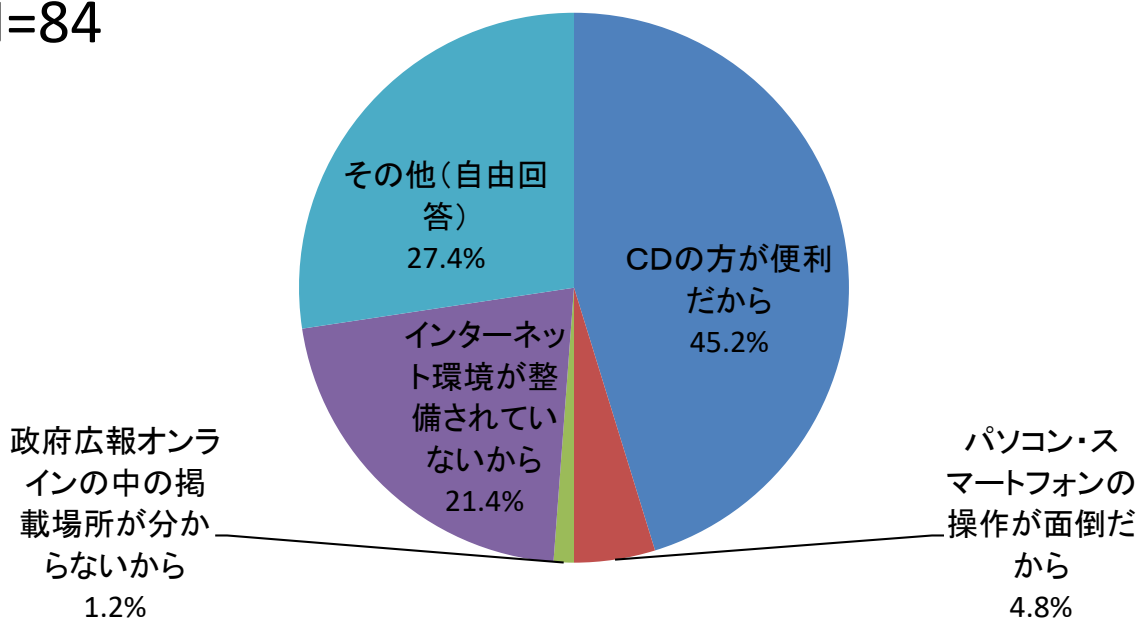


I 音声広報CD「明日への声」について

問6 政府広報オンラインでの「明日への声」を案内しない理由として当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 最も多かった回答は、「CDの方が便利だから」で45.2%。
- ◆ 次いで「インターネット環境が整備されていないから」が21.4%となっている。

N=84



○その他の回答内容(抜粋)

- ・希望者にCDを送っているのに特に案内をしたことはない。
- ・操作方法の説明が十分にできないため。
- ・特に必要性を感じていないため。

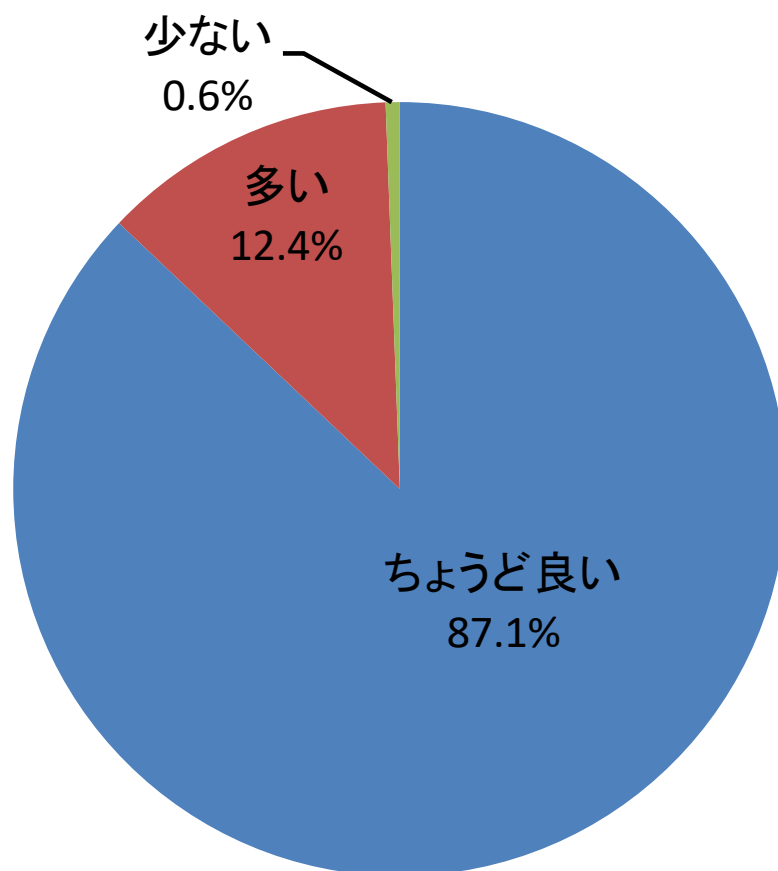
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問7 このCDは年6回発行しています。発行回数についてのご意見をお聞かせください。

- ◆ 発行回数については、「ちょうど良い」と回答した施設が87.1%であった。

N=170

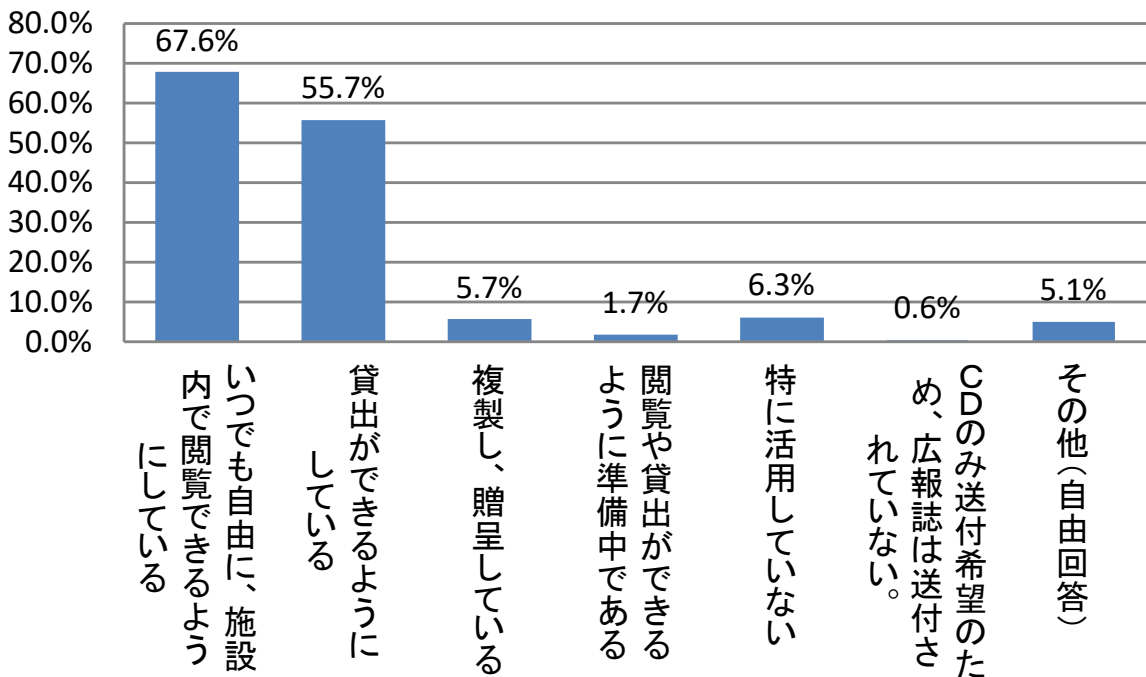


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問8 音声広報CD「明日への声」と同時に、点字・大活字、及び音声コードによる広報誌「ふれあいらしんばん」を発行していますが、この冊子の活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 活用方法としては、「いつでも自由に、施設内で視聴できるようにしている」が67.6%で最も多い。
- ◆ 次いで「貸出ができるようにしている」が55.7%となっている。

N=176



○その他の回答内容(抜粋)

- ・新刊案内で現物が欲しい人を募っている。
- ・希望者に贈呈している。
- ・施設内の担当で回覧している。

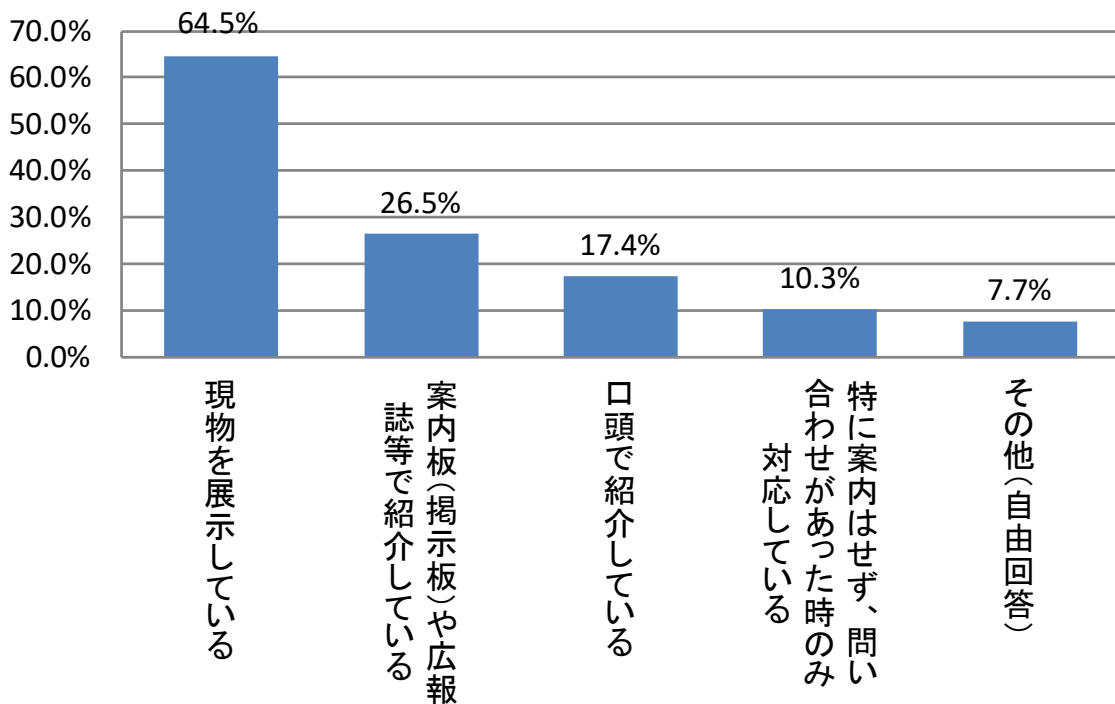
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問9 問8で「1 いつでも自由に、施設内で閲覧できるようにしている」または「2 貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 具体的な案内方法は、「現物を展示している」が64.5%、「案内板（掲示板）や広報誌等で紹介している」が26.5%となっている。

N=155



○その他の回答内容(抜粋)

- ・自館点字図書館目録に掲載。ホームページに掲載。
- ・毎号特定の利用者に貸し出している。
- ・職員回覧を年に一回は行い、生徒への紹介をお願いしている。
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問10 問8で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。

- ・CD同様インターネットを活用されてる方が多いため。
- ・要望が特にないため。
- ・対面読書室に常備してありますが、対面読書の利用者もお一人のみで利用はされていません。フロアは設置スペースがありません。
- ・小学部・中学部の人数が多く内容を理解するのは難しい。
- ・利用者がいない。

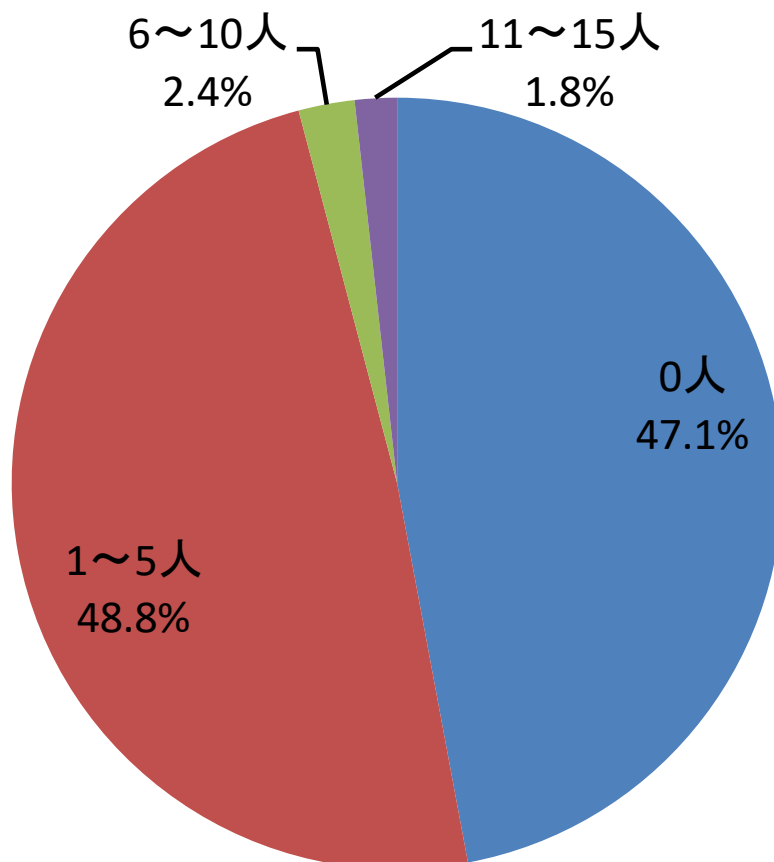
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問11 1か月の間に点字・大活字広報誌を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。

◆ 「1～5人」が48.8%で最も多く、半数以上の施設で利用実績がある。

N=170

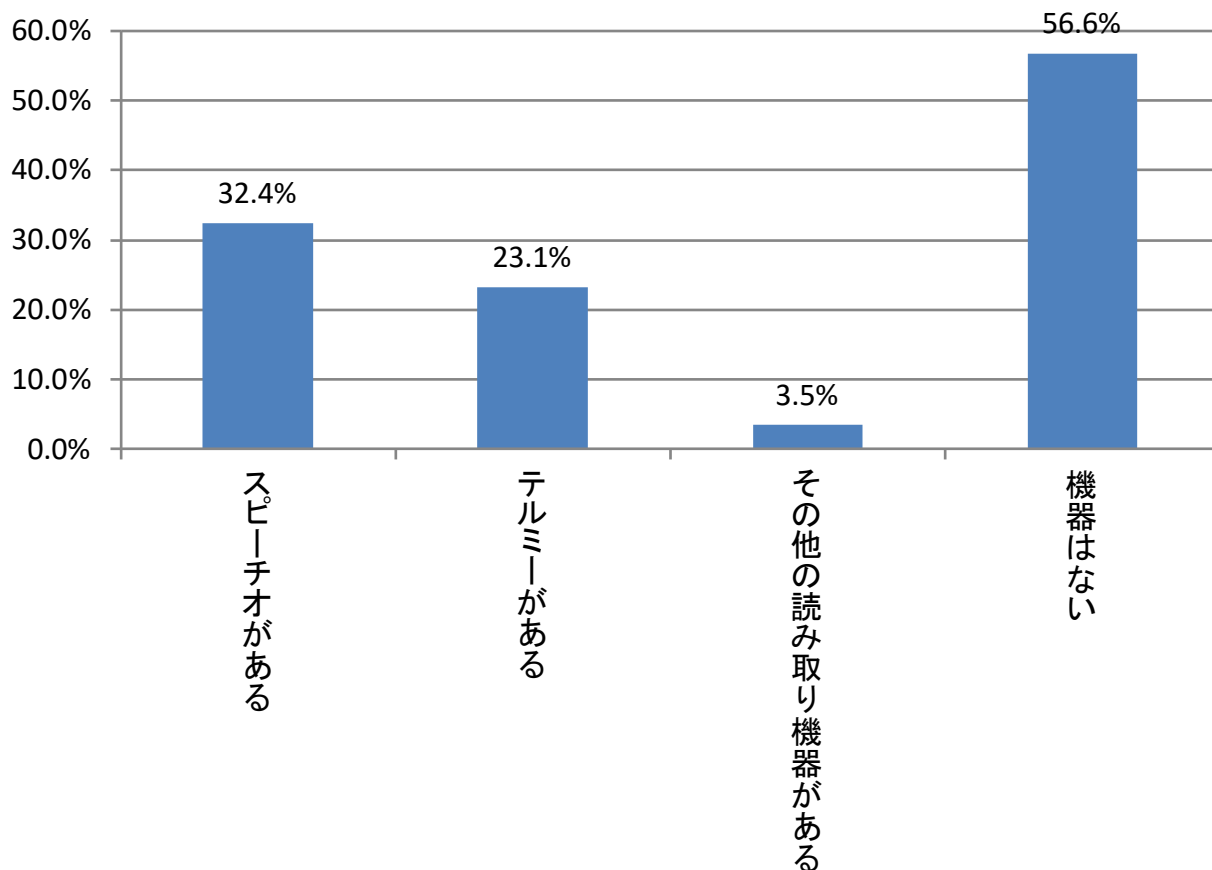


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問12 点字・大活字広報誌には音声コードが記載されていますが、貴施設に音声コードを読む機器はありますか。当てはまるものをすべてお選びください。(4の場合は1つだけ)

◆ 読み取り専用の機器のない施設は56.6%で半数以上を占めた。

N=173

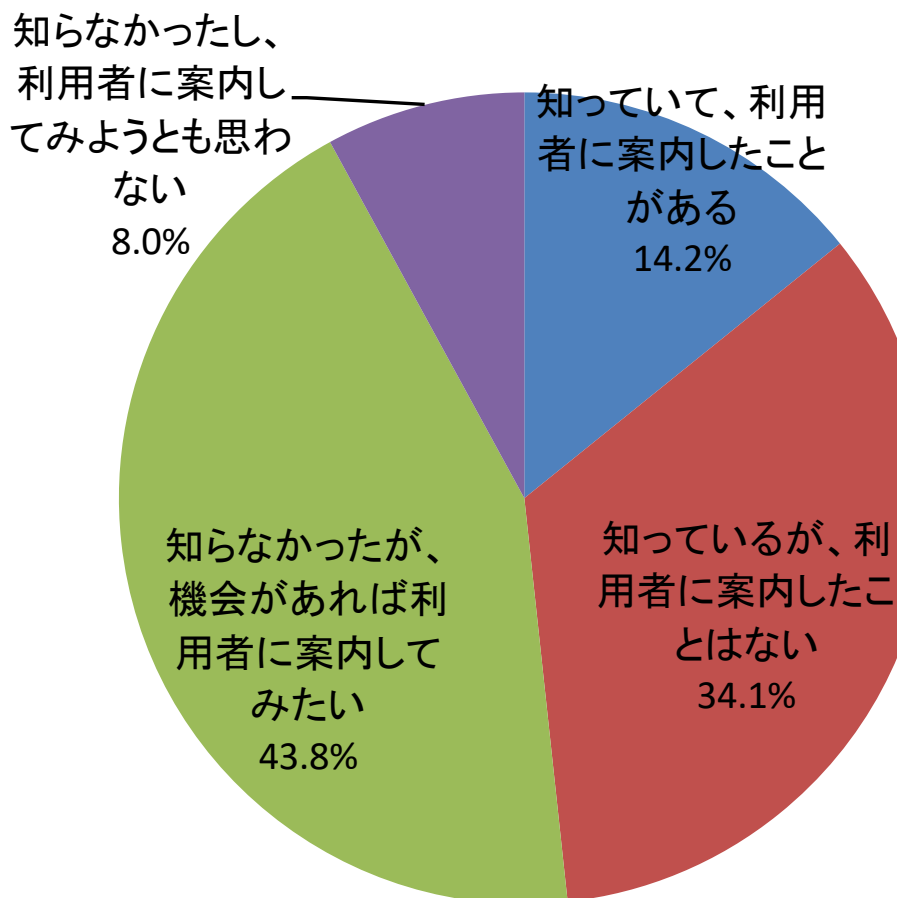


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問13 この冊子は、政府広報オンライン(インターネット)でも読むことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 政府広報オンラインで「ふれあいらしんばん」を読むことができることを「知っている人」は約48%。
- ◆ 「知らないが、機会があれば利用者に案内してみたい」と回答した人が43.8%と最も多い。

N=176

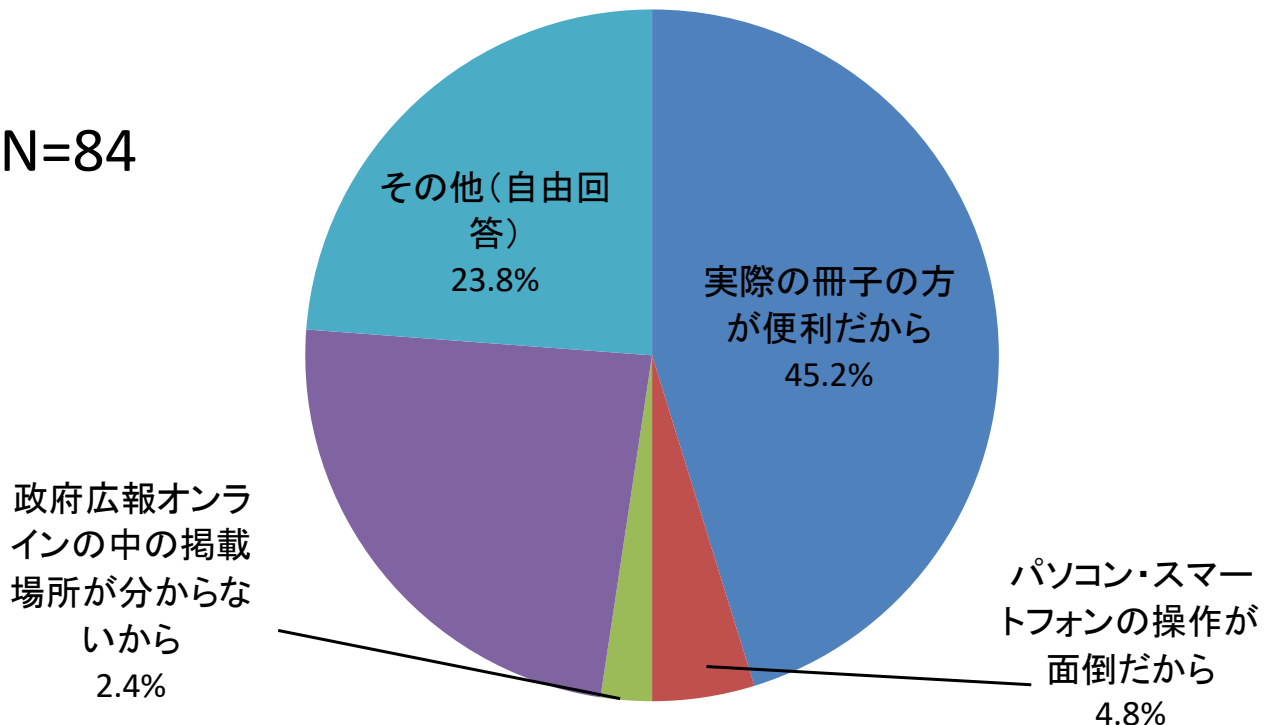


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問14 政府広報オンラインでの「ふれあいらしんばん」を案内しない理由として当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 最も多かった回答は、「実際の冊子の方が便利だから」で45.2%。
- ◆ 次いで「インターネット環境が整っていないから」が23.8%となっている。

N=84



○その他の回答内容(抜粋)

- ・図書館の新刊案内に記事を掲載しているが、掲載スペースが限られており、政府広報オンラインの案内はしていない。
- ・問合せがない。

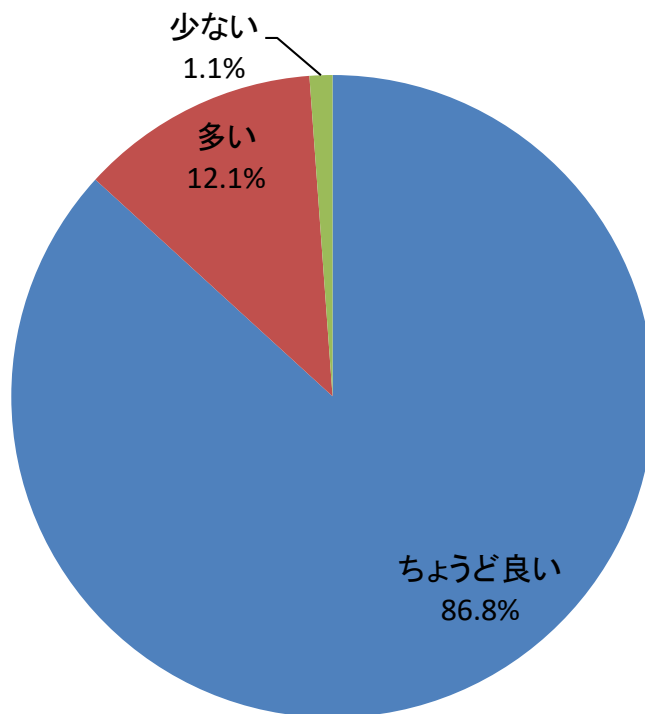
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問15 この冊子は年6回発行しています。発行回数についてのご意見をお聞かせください。

- ◆ 発行回数については、「ちょうど良い」と回答した施設が86.8%であった。

N=174



Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問16 第63号(平成30年9月発行)から、音声コードをSPコードからUni-Voiceコードに変更しました。このことに対して利用者から寄せられた意見等がありましたらお聞かせください。

・テルミーなどにとられることなく既に所持しているスマートフォンでも読み取れるので便利になった。

・アプリで使えて専用の機器が必要ないので良いと思う。

・Uni-Voiceコードに変更されたことをこの冊子で知った。このことを知っている利用者があるのか不明。

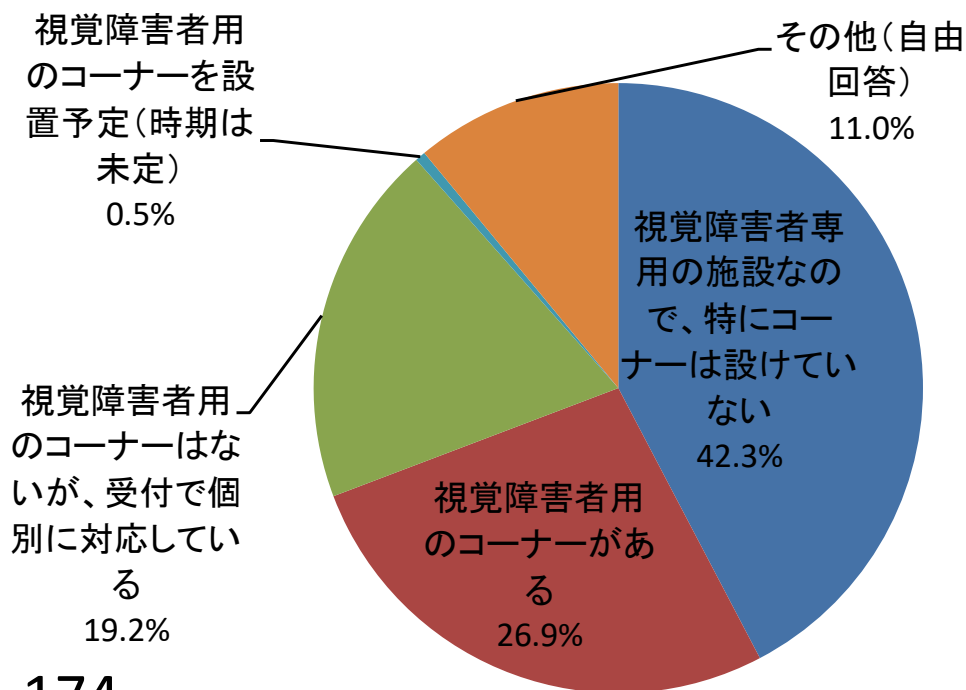
・特になし。Uni-voice利用者がいない。

など

Ⅲ 共通事項

問17 障害者差別解消法が平成28年4月に施行され、合理的配慮が求められています。貴施設では、視覚障害者向けに音声CDや点字図書、大活字図書等を取りまとめたコーナーを設けていらっしゃいますか。当てはまるものをすべてお選びください。

◆ 施設における視覚障害者向けの対応として、「視覚障害者用のコーナーがある」が26.9%、「視覚障害者用のコーナーはないが、受付で個別に対応している」が19.2%となっている。



N=174

○その他の回答内容(抜粋)

- ・取りまとめたコーナーではないが、視覚障害者等用録音図書、大活字図書などそれぞれのコーナーを設けている。
- ・雑誌、広報誌等はコーナーを設けている。

など

Ⅲ 共通事項

問18 このCDや冊子に関するご意見やご要望をぜひお聞かせください。利用者から寄せられたご意見等があった場合は、あわせてご記入ください。

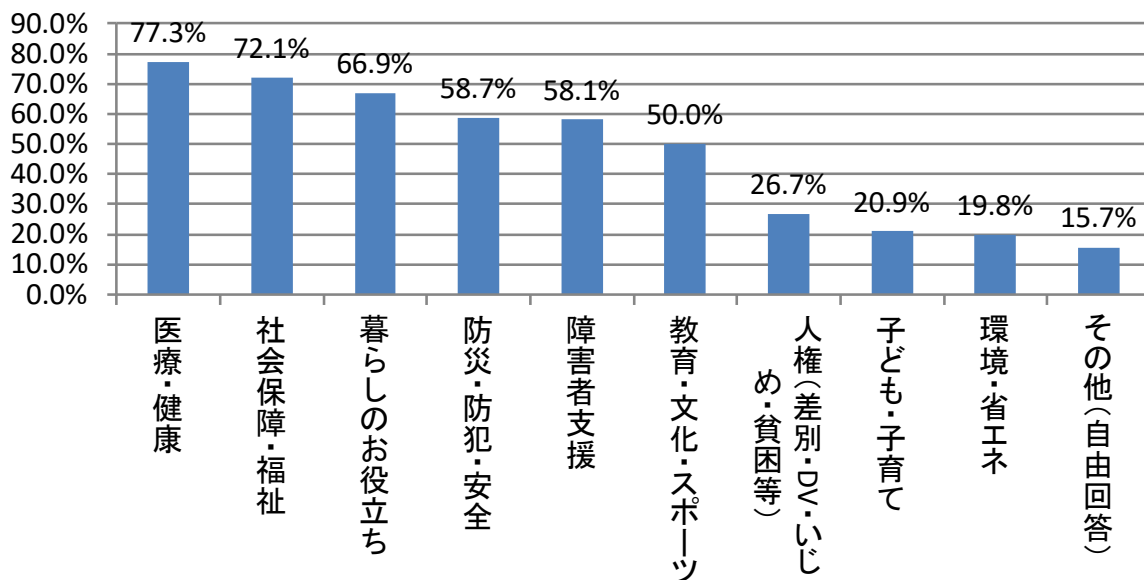
- ・特定の利用者から、毎回楽しみにしているとの意見がありました。
- ・「ふれいらしんばん」はコンパクトにまとまっていて量がちょうど良い。
- ・音楽のコーナーが楽しみで聞いている。朗読者の声が聞き取りやすくとても良い。
- ・最近、インターネットの普及で「ホームページをご覧ください」のみの案内も増えてきているが、インターネットが苦手な方もたくさんいらしゃるので情報誌やCD等の送付サービスはとても助かっています。
- ・視覚障害利用者に紹介し提供をしたが、自分に直接関係する生活面などについての情報が少ないとの意見があった。

Ⅲ 共通事項

問19 視覚に障害をお持ちの方や小さな文字が読みにくい方は、普段、どのような情報を求めているらっしゃるとお感じになりますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 「普段、どのような情報を求めていると感じるか」について、「医療・健康」が77.3%で最も高い。
- ◆ 次いで、「社会保障・福祉」が72.1%、「暮らしのお役立ち」が66.9%となっている。

N=172



○その他の回答内容(抜粋)

・新聞に掲載されるような社会生活をおくる上で必要な情報は、すべて求められていると思う

など

Ⅲ 共通事項

問20 音声広報CD及び、点字・大活字広報誌の利用促進について、苦勞されていることや工夫されていることがありましたら、ぜひご教示ください。

◆ 苦勞されていること

・掲載されている記事の内容を周知することが十分にできておらず、そのために利用者が少なくなってしまうている。どのようなことが書かれているのかが分かれば読んでみようと思う方も増えるかもしれないが、そこまでできていない。

◆ 工夫されていること

・ポスター作製など

・貸出申込や来館者で興味がありそうな方に内容を紹介し声をかけている。

・音源として活用できるものが収録されている場合それを表示している。

・会員向けのメールにて広報している。

・情報誌等が届いたら、点字墨字の区別なく必ず全員に回覧するようにしている。

など

Ⅲ 共通事項

問21 視覚に障害をお持ちの方向けの情報提供における課題や困っていることや工夫していることがあればご教示ください。

◆困っていること

・職場回覧する情報誌等の情報が、視覚障害者と晴眼者の間で平等には渡らないのではないかということ。

・視覚障害者のために利用(購入)したい機器の価格が高いので購入出来ない。

・ICTの利用にまだまだ障壁がある。

・個人情報保護法により視覚障害者の名簿の入手が困難になり情報提供に制約がある。

◆工夫していること

・政府広報と聞くと難しい内容と思われる場合があるので見出しなどを伝えイメージを変えてもらえるように努めている。

・点字・墨字・録音図書PCなど視覚障害の程度に応じた図書環境を提供できるよう図書支援機器を備えている。

・盲学校と関係がある職員がいるので盲学校の保護者に直接情報提供している。

など

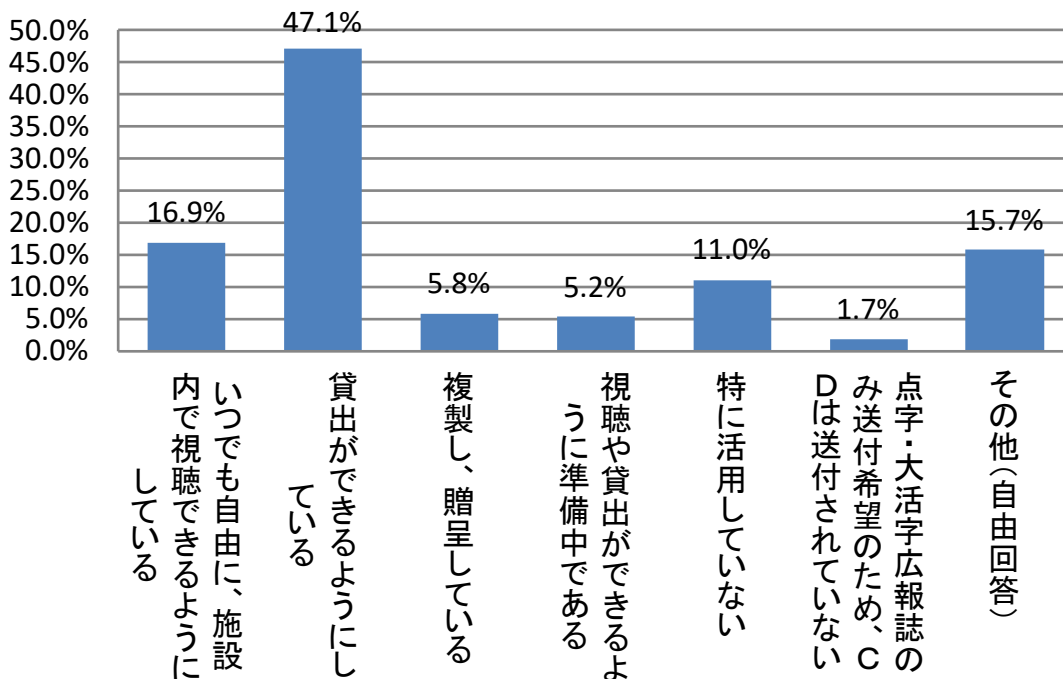
③自治体向け 調査の結果

I 音声広報CD「明日への声」について

問1 音声広報CD「明日への声」は、視覚障害者の方や小さな文字が読みにくい方等に向けて、政府の施策を音声でお届けしています。このCDの活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 活用方法としては、「貸出ができるようにしている」が47.1%で最も多い。
- ◆ 次いで「いつでも自由に、施設内で視聴できるようにしている」が16.9%となっている。

N=172



○その他の回答内容(抜粋)

- ・課内で回覧している。
- ・市社会福祉協議会に贈呈している。市社協では、開館時間内に常時掛けながしている。

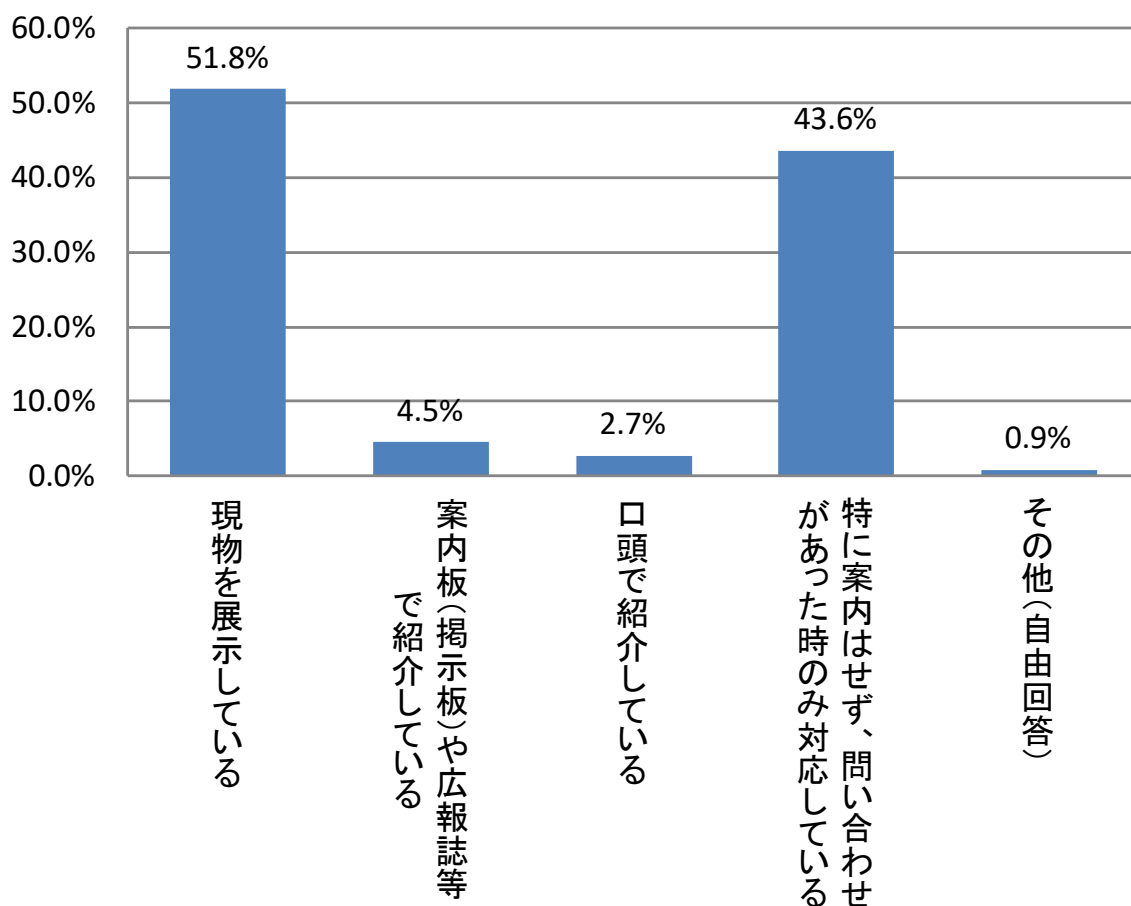
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問2 問1で「1 いつでも自由に、庁舎内で視聴できるようにしている」または「2 貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 具体的な案内方法は、「現物を展示している」が51.8%、「特に案内はせず、問い合わせがあった時のみ対応している」が43.6%となっている。

N=110



I 音声広報CD「明日への声」について

問3 問1で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。

・「明日への声」の認知度や周知方法など把握できていないこともあり、現在活用方法を検討中のため。

・視覚障害の方が窓口に来庁するのが、年に数回程度と頻度が少ない。

・当市では視覚障害者協会や情報センターをメインに案内しているため。

・問合せがあれば対応できるが、貸出方法等について明確に決めていないため現状では活用できていない。

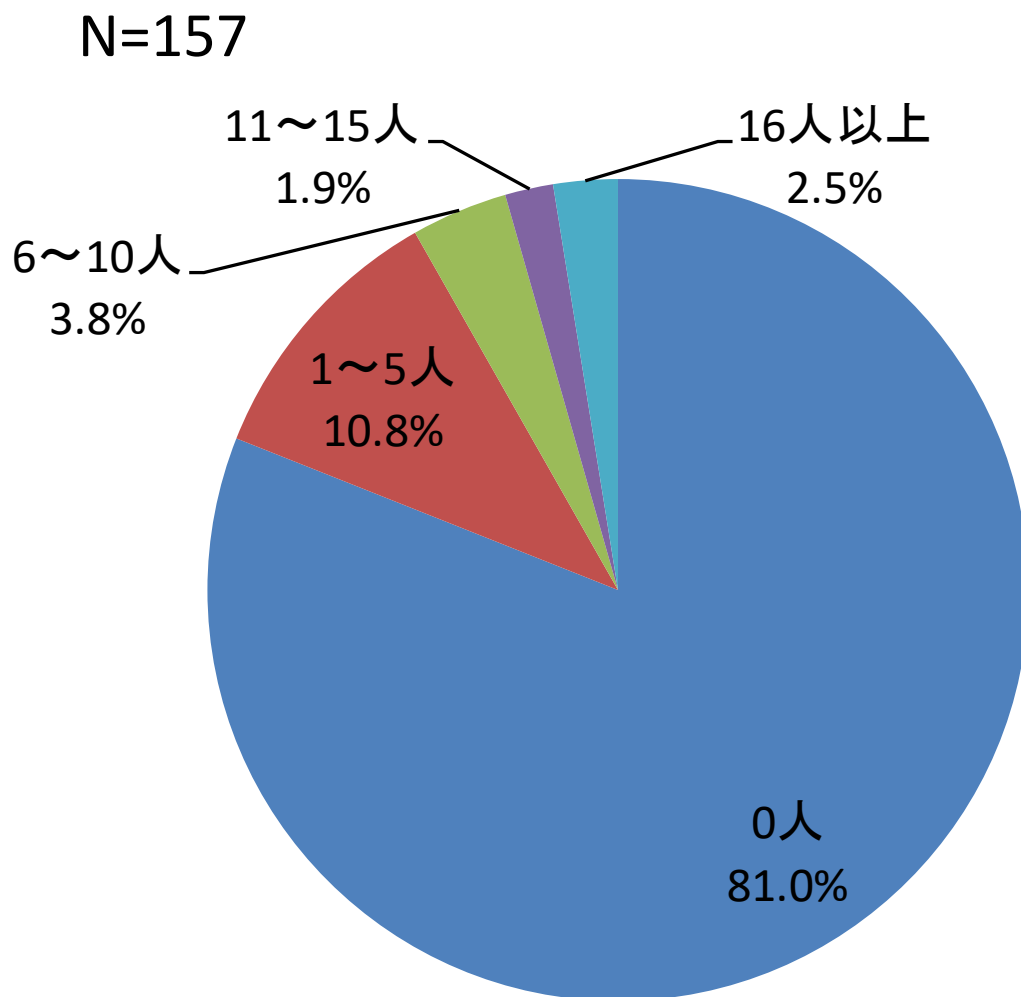
・区民の方から要望がないため。

など

I 音声広報CD「明日への声」について

問4 1か月の間に音声広報CD「明日への声」を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。

◆ 利用実績のある自治体は2割程度。

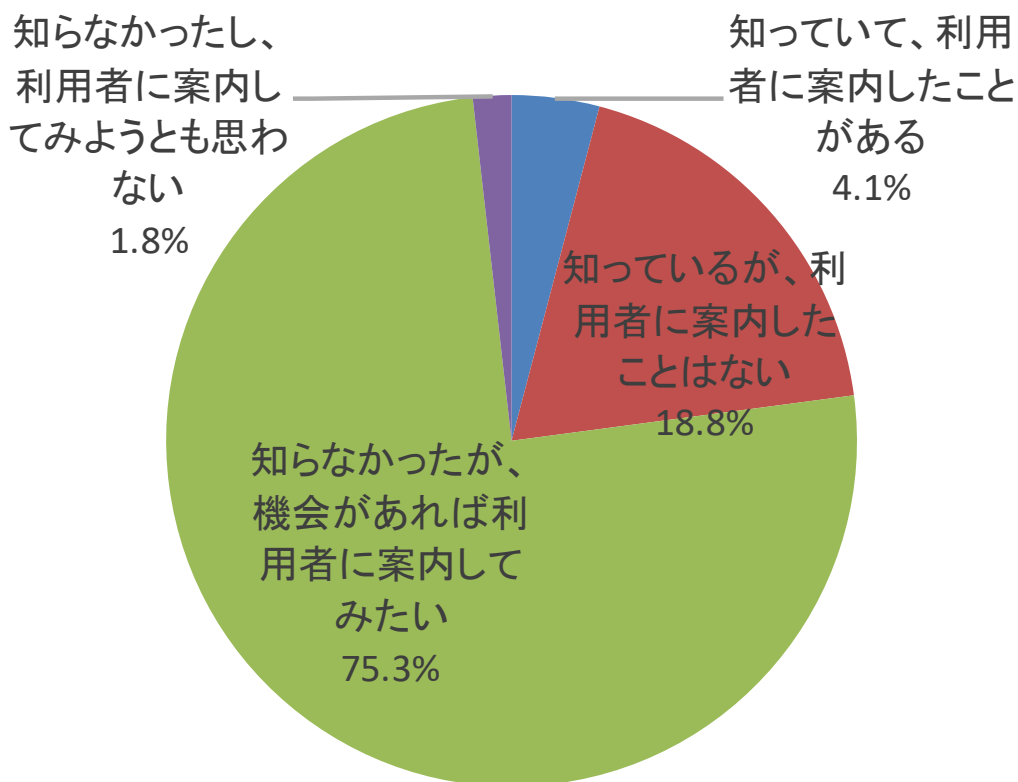


I 音声広報CD「明日への声」について

問5 このCDは、政府広報オンライン(インターネット)でも聴くことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 政府広報オンライン(インターネット)でも聴くことができることを「知っている」自治体は約23%であった。
- ◆ 「知らなかったが、機会があれば利用者に案内してみたい」と答えた自治体が75.3%で最も多い。

N=170

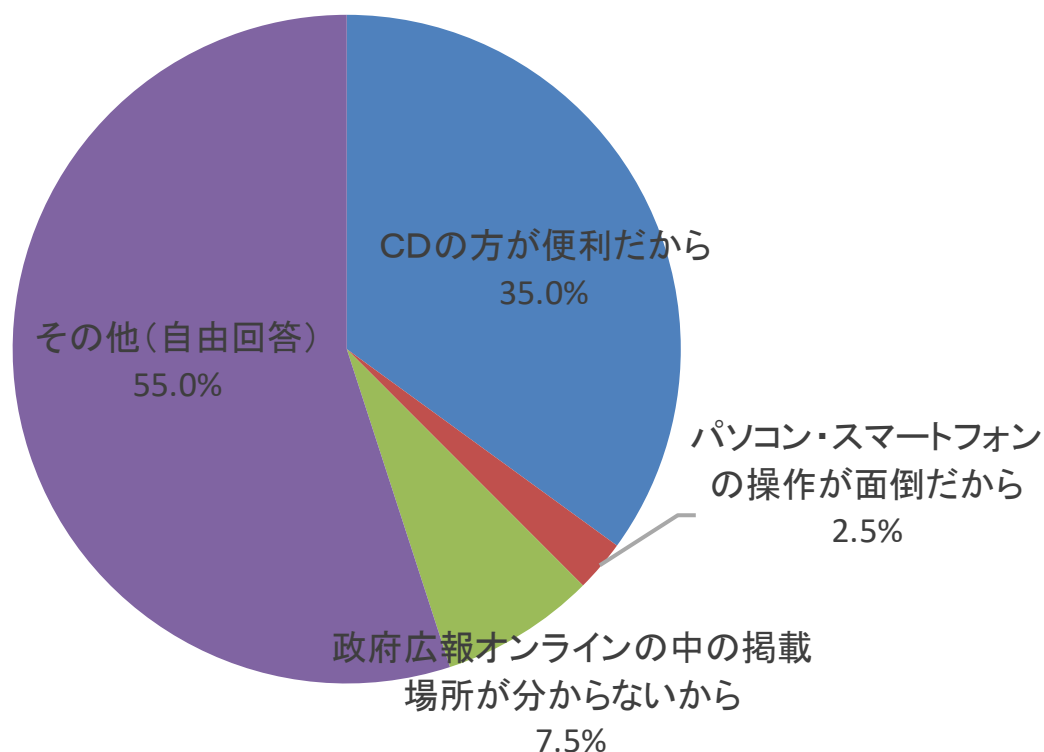


I 音声広報CD「明日への声」について

問6 政府広報オンラインでの「明日への声」を案内しない理由として当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 最も多かった回答は、「CDの方が便利だから」で35.0%。
- ◆ 「政府広報オンラインの中の掲載場所がわからないから」が7.5%となっている。

N=39



○その他の回答内容(抜粋)

- ・問い合わせがないため。
- ・対象は高齢者が多く、パソコン・スマートフォンの操作が困難であると考えるため。
- ・普段の業務の中で紹介する機会がないため。
- ・問い合わせ等があれば、内容によっては紹介する。

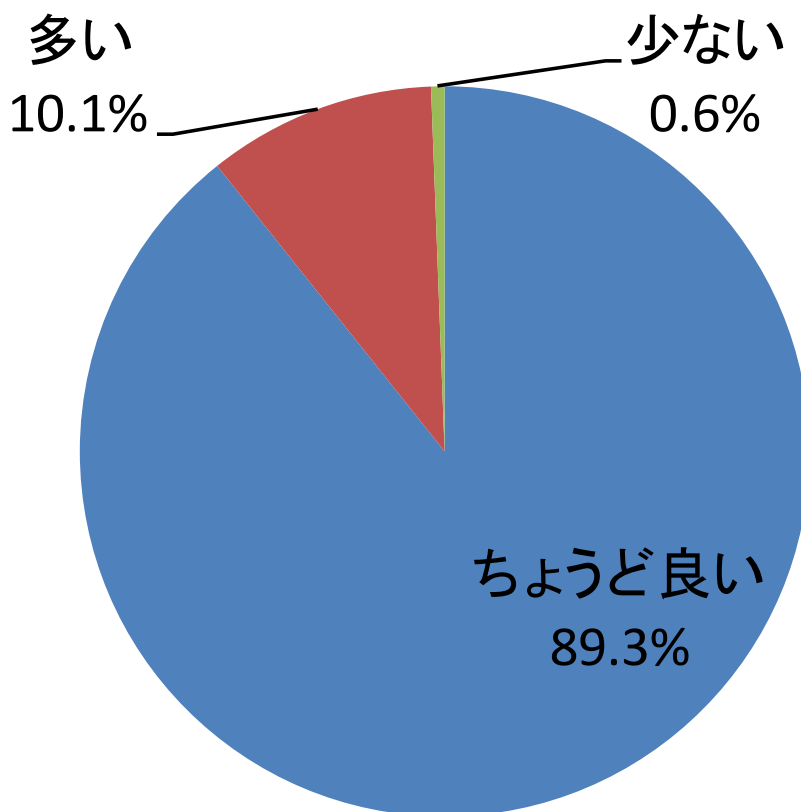
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問7 このCDは年6回発行しています。発行回数についてのご意見をお聞かせください。

- ◆ 発行回数については、「ちょうど良い」と回答した自治体が89.3%であった。

N=168

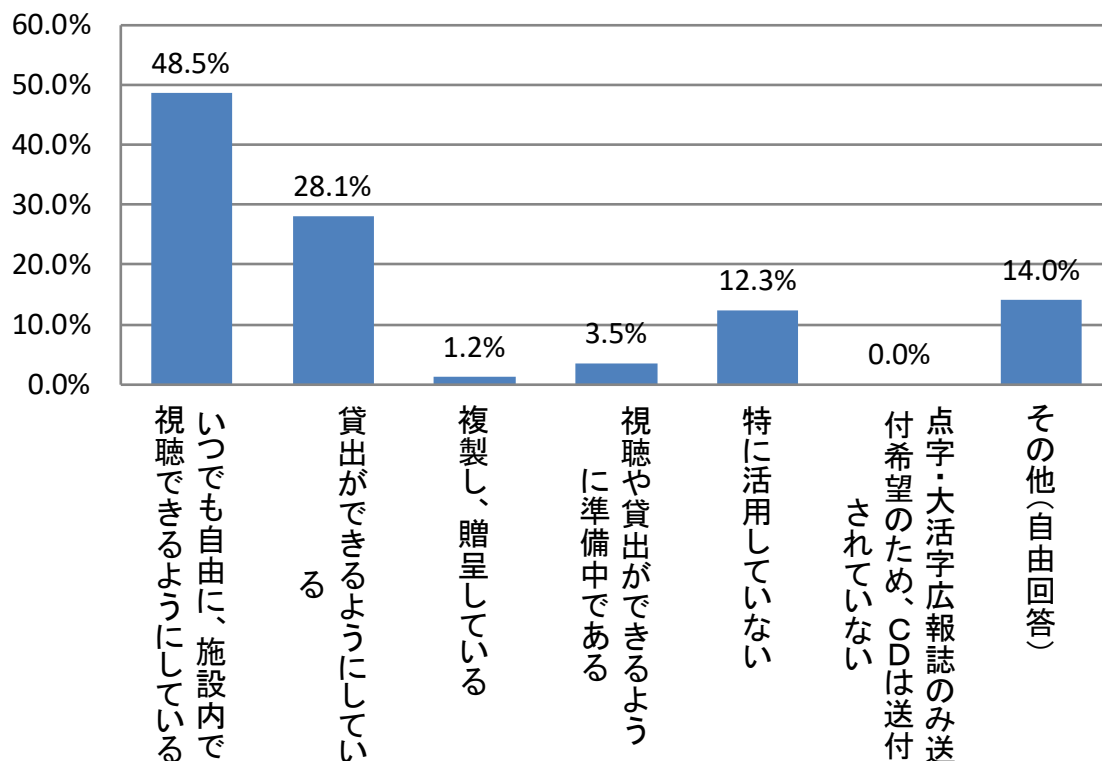


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問8 音声広報CD「明日への声」と同時に、点字・大活字、及び音声コードによる広報誌「ふれあいらしんばん」を発行していますが、この冊子の活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 活用方法としては、「いつでも自由に、施設内で視聴できるようにしている」が48.5%で最も多い。
- ◆ 次いで「貸出ができるようにしている」が28.1%となっている。

N=171



○その他の回答内容(抜粋)

- ・社会福祉協議会へ情報提供している。
- ・対面朗読室へ配架し、利用者の希望があれば閲覧できるようにしている。

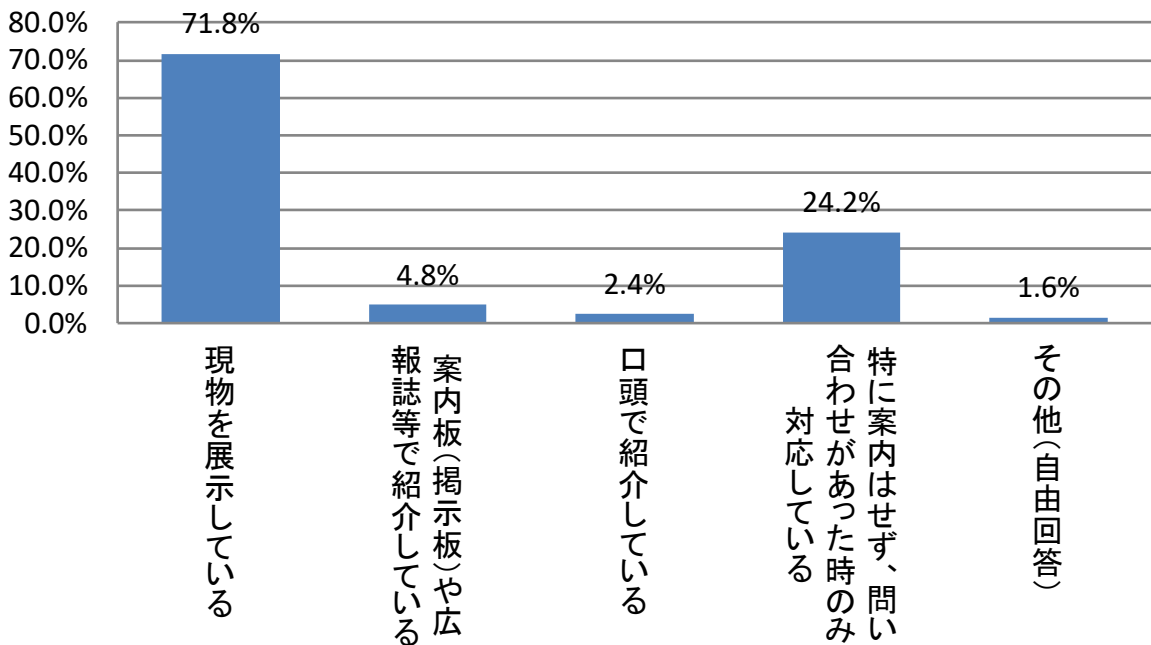
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問9 問8で「1 いつでも自由に、庁舎内で閲覧できるようにしている」または「2 貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 具体的な案内方法は、「現物を展示している」が71.8%、「特に案内はせず、問い合わせがあった時のみ対応している」が24.2%となっている。

N=124



○その他の回答内容(抜粋)

- ・市立図書館で保存し、貸し出しできるようにしている。
- ・点字ボランティアグループに依頼し、グループから市内の視覚障がい者の方へ、郵送されている点字の情報誌上で案内してもらっている。

など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問10 問8で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。

- ・「ふれあいらしんばん」の認知度や周知方法など把握できていないこともあり、現在活用方法を検討中のため。
- ・視覚障害の方が窓口に来庁するのが年に数回程度と頻度が少ない。
- ・配架スペース等の都合により。
- ・当市では視覚障害者協会や情報センターをメインに案内しているため。
- ・問合せがあれば対応できるが、貸出方法等について明確に決めていないため現状では活用できていない。
- ・閲覧や貸出ができるようにするものという認識がなかったため。
- ・区民からの要望がないため。

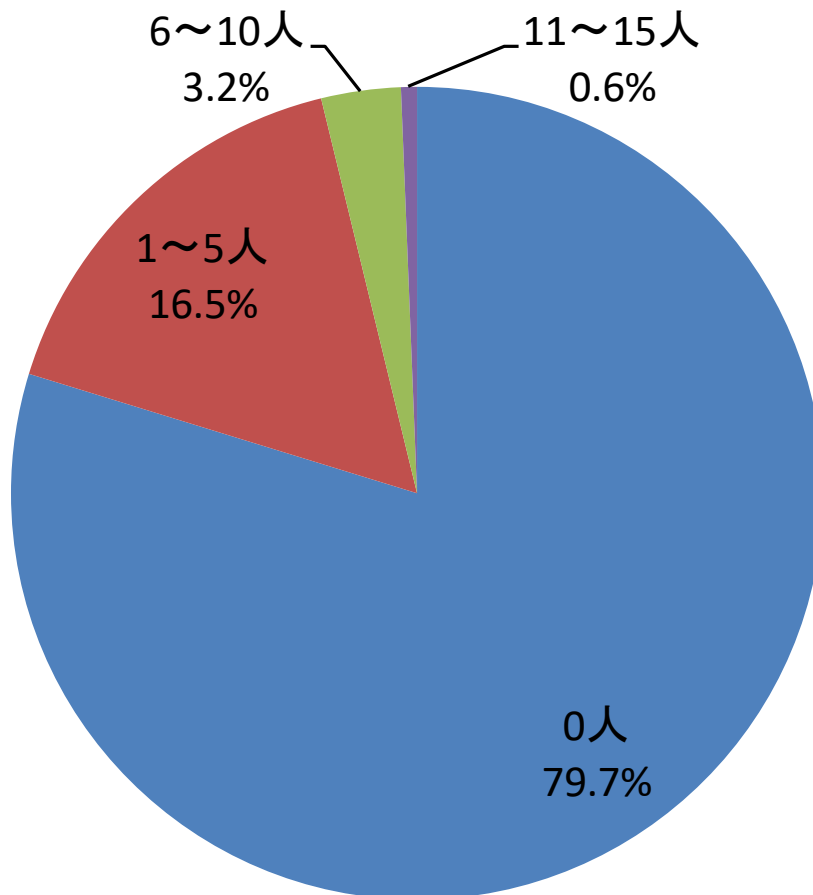
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問11 1か月の間に点字・大活字広報誌を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。

◆ 利用実績のある自治体は、2割程度となっている。

N=158

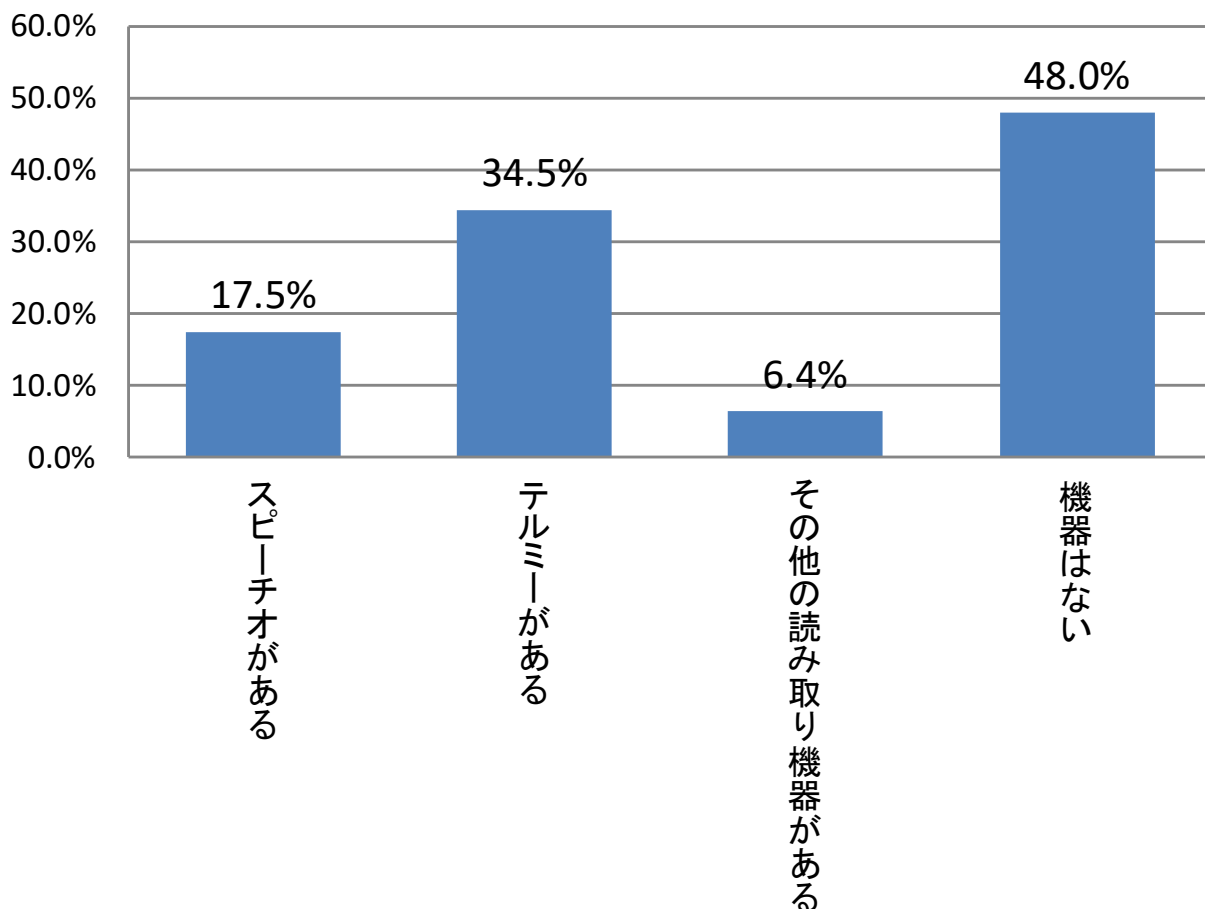


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問12 点字・大活字広報誌には音声コードが記載されていますが、貴自治体に音声コードを読む機器はありますか。当てはまるものをすべてお選びください。(4の場合は1つだけ)

◆ 読み取り専用の機器のない施設は48.0%で、約半数を占めた。

N=171

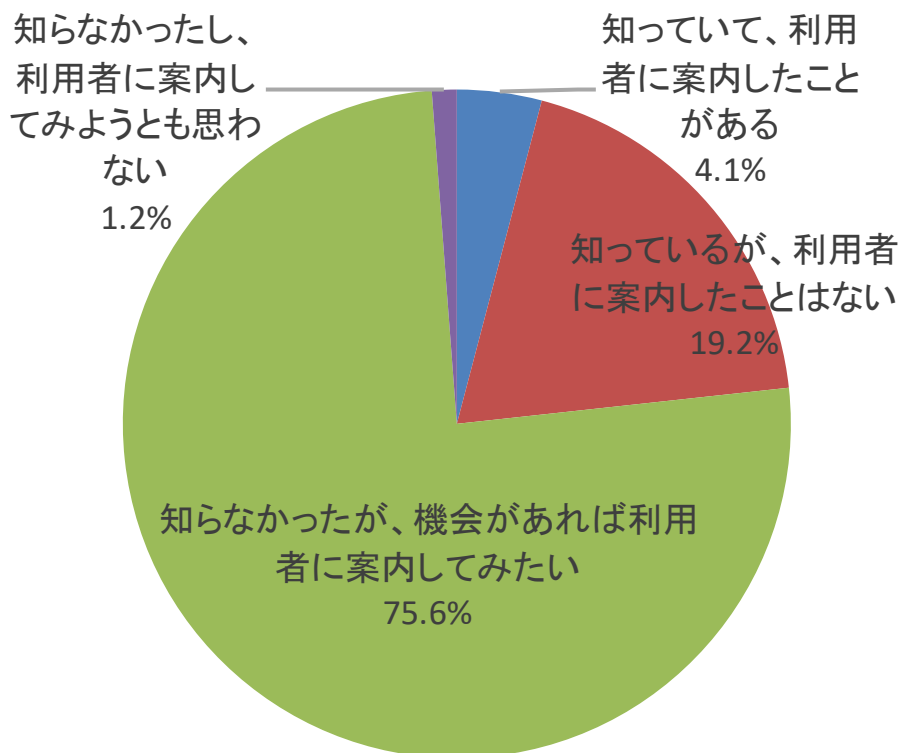


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問13 この冊子は、政府広報オンライン(インターネット)でも読むことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 政府広報オンラインでも聴くことができることを「知っている」自治体は約23%であった。
- ◆ 「知らなかったが、機会があれば利用者に案内してみたい」と答えた自治体が75.6%で最も多い。

N=172

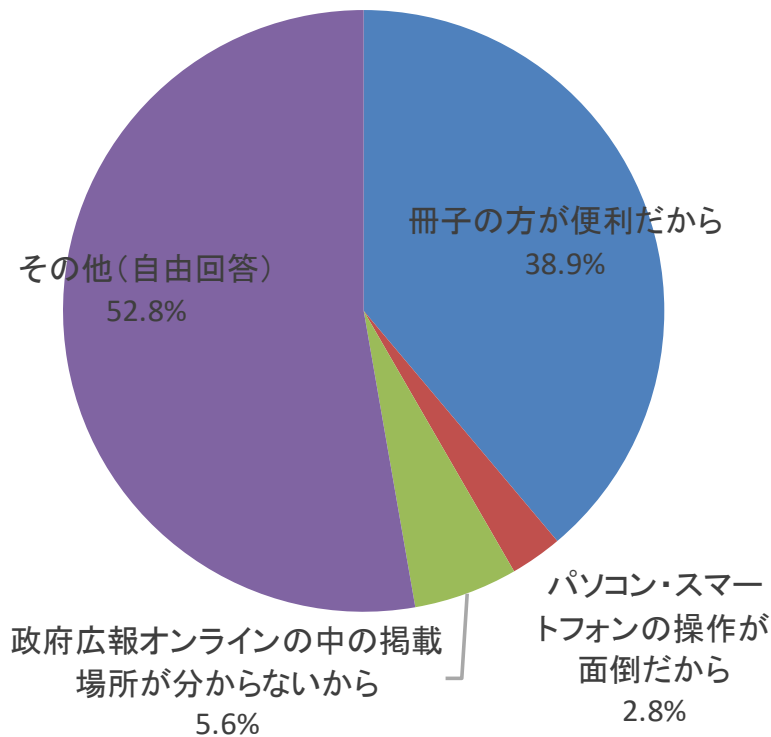


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問14 政府広報オンラインでの「ふれあいらしんばん」を案内しない理由として当てはまるものを1つお選びください。

- ◆ 最も多かった回答は、「実際の冊子の方が便利だから」で38.9%。
- ◆ 「政府広報オンラインの中の掲載場所がわからないから」が5.6%となっている。

N=36



○その他の回答内容(抜粋)

- ・問い合わせがないため。
- ・対象高齢者が多く、パソコン・スマートフォンの操作が困難であると考えため。
- ・普段の業務の中で紹介する機会がないため。
- ・問い合わせ等があれば内容によって紹介する。

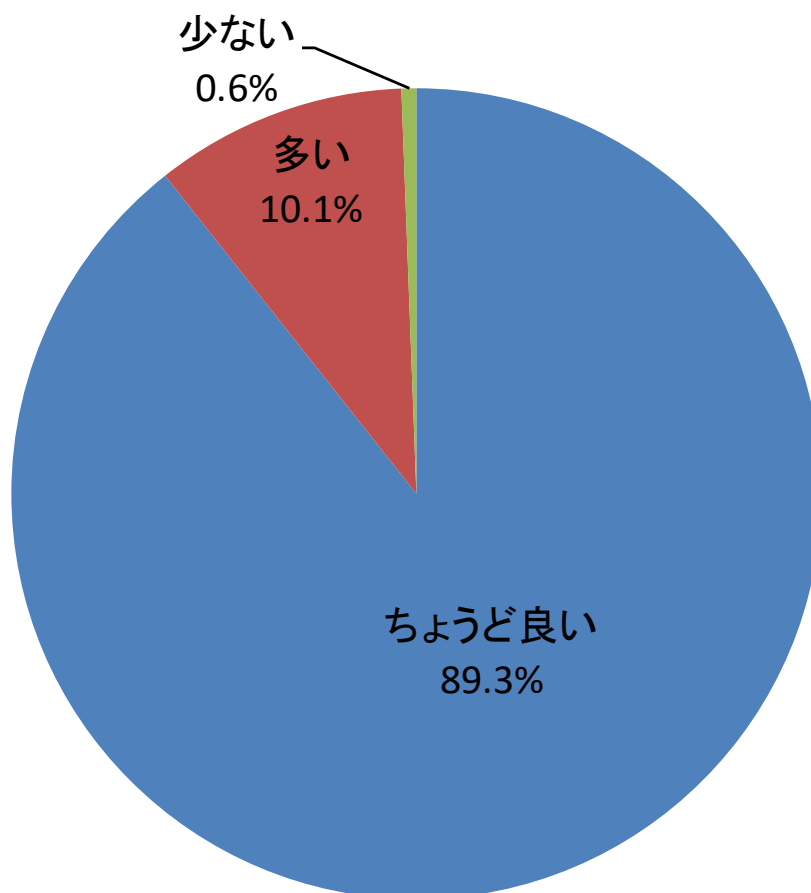
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問15 この冊子は年6回発行しています。発行回数についてのご意見をお聞かせください。

- ◆ 発行回数については、「ちょうど良い」と回答した自治体が89.3%であった。

N=169



Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問16 第63号(平成30年9月発行)から、音声コードをSPコードからUni-Voiceコードに変更しました。このことに対して利用者から寄せられた意見等がありましたらお聞かせください。

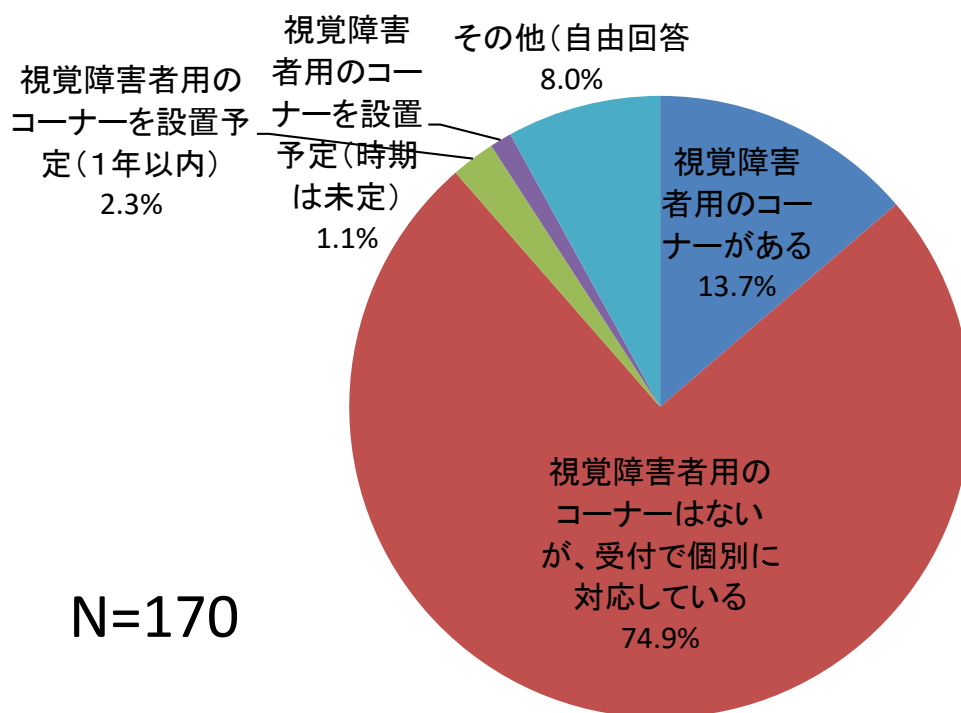
- ・Uni-Voiceコードの方が、スマホアプリに対応しているので、便利が良い。
- ・寄せられた意見は特にはないが、スマートフォンを持つ人が多くなっているため、Uni-Voiceの方が汎用性が高いと思う。
- ・Uni-Voiceを公的補助の対象にしてほしい(日常生活用具)という意見があった。

など

Ⅲ 共通事項

問17 障害者差別解消法が平成28年4月に施行され、合理的配慮が求められています。貴自治体庁舎では、視覚障害者向けの広報物を取りまとめたコーナーを設けていらっしゃいますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 視覚障害者向けの対応として、「視覚障害者用のコーナーがある」が13.7%、「視覚障害者用のコーナーはないが、受付で個別に対応している」が74.9%となっている。
- ◆ 「1年以内に視覚障害者用のコーナーを設置予定」が2.3%であった。



○その他の回答内容(抜粋)

- ・専用のコーナーはないが、広報物等があれば掲示する。
など

Ⅲ 共通事項

問18 このCDや冊子に関するご意見やご要望をぜひお聞かせください。利用者から寄せられたご意見等があった場合は、あわせてご記入ください。

- ・とても良い内容だと思う。
- ・送付されるCD、広報誌が1部ずつなので、複数人からの利用希望があった場合、対応できない。
- ・自治体内のどこにCDや冊子が配布されているか把握できると良い。
- ・点字と大活字のページが分かれていて、弱視の方には読みやすいのではないかと思う。音声コードのページが冊子の中盤からということと、紙が大きいので、専用読み取り機での読み取りはコツがいるのではと感じた。

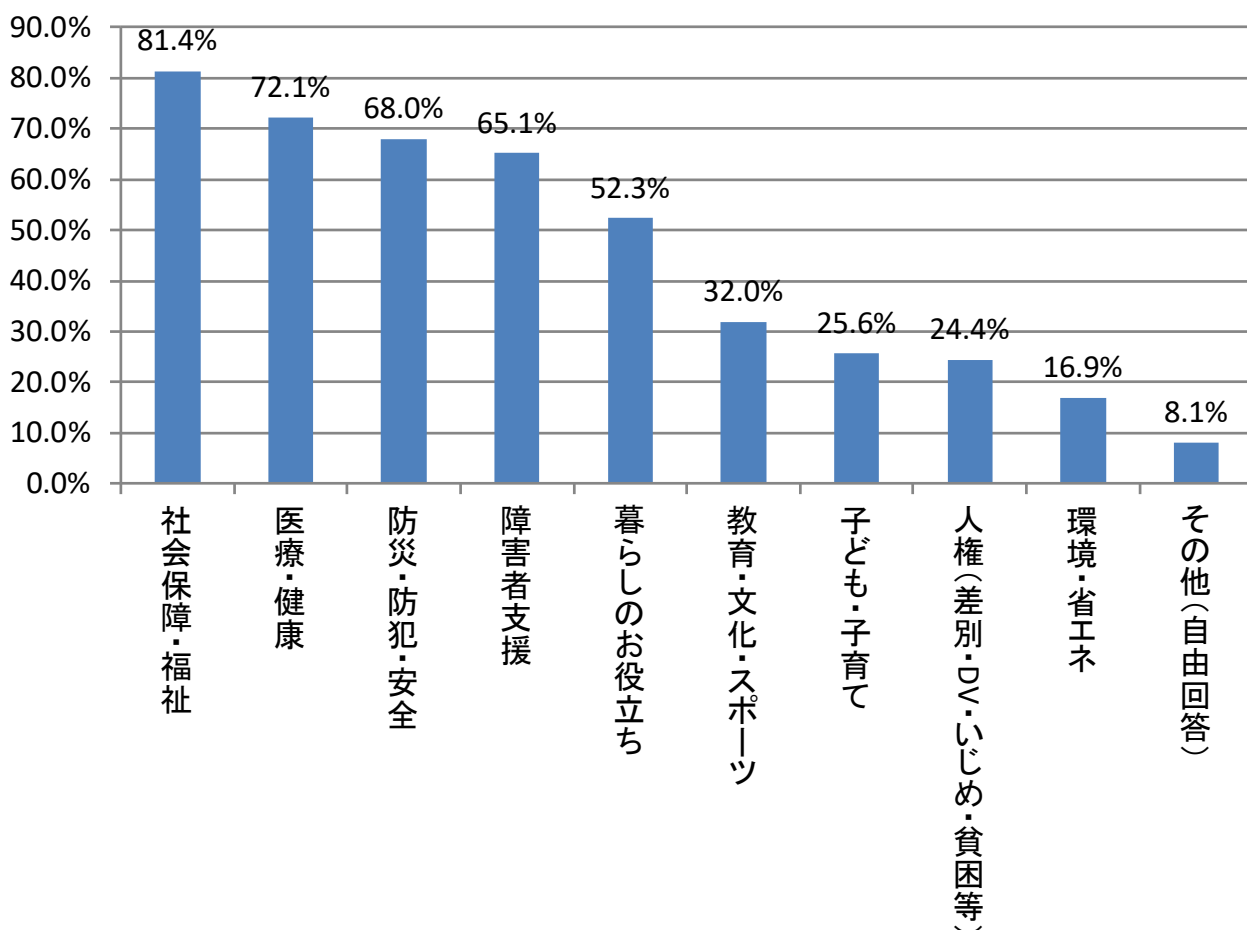
など

Ⅲ 共通事項

問19 視覚に障害をお持ちの方や小さな文字が読みにくい方は、普段、どのような情報を求めているらっしゃるとお感じになりますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- ◆ 「普段、どのような情報を求めていると感じるか」について、「社会保障・福祉」が81.4%で最も高い。
- ◆ 次いで、「医療・健康」が72.1%、「防災・防犯・安全」が68.0%となっている。

N=172



Ⅲ 共通事項

問20 音声広報CD及び、点字・大活字広報誌の利用促進について、苦勞されていることや工夫されていることがありましたら、ぜひご教示ください。

◆ 苦勞されていること

・窓口を設置しているものの、利用する人がいない。現状では費用対効果が低い。

・高齢化により、機器の操作が難しくなってきたり、点字を使える人が減ってきたりしている。

・CDなど限られた時間の範囲で、伝える情報の選択が難しい点。

◆ 工夫されていること

・ラジオ広報にて県民だより発行のお知らせの際に音声版についても触れている。

・なるべく目につきやすい場所、手に取りやすい場所に置くようにしている。

・点字版や音声版のほか、音声コード入りの出版物の作成に努めている。

など

Ⅲ 共通事項

問21 視覚に障害をお持ちの方向けの情報提供における課題や困っていること、工夫していることがあればご教示ください。

◆ 困っていること

・音声版や点字版の存在を知ってもらえているかわからない。点字も年々読者が減っており、県の情報が伝わっているか心配な面がある。

・点字を利用している方が少ないため、設備に予算を投入しにくい。

◆ 工夫していること

・社会福祉協議会、ボランティア団体、特別支援学校との連携に努めている。

・郵送物には、課名の点字シールを貼り開封前に送り主が確認できるようにして送付している。

・障害者ITサポートセンターを設置し、情報通信機器の利活用に係る相談・情報提供や各種講習会、体験会の実施している。指定管理制度により運営している県視覚障害者情報センターにおいても、サピエ図書館によるインターネットによる図書利用の促進や情報提供、蔵書のデジタル化等、利用者ニーズの変化に対応する取り組みをしている。

など